



Web Fairy Paradise

第91号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第78回 WFP フェアリー作品展(再掲)
- ・ 第79回 WFP フェアリー作品展
- ・ Fairy of the Forest #46
- ・ 第97回推理将棋出題
- ・ 第98回推理将棋出題
- ・ 強欲な世界パート4

結果発表

- ・ 第96回推理将棋出題
- ・ フェアリー版くるくる作品展5
- ・ ちょっと早い2016年年賀詰作品展

読み物

- ・ 自分なりの透明駒の門戸(上谷直希)
- ・ 年賀詰紹介



2016/1

はじめに



2016 年

あけましておめでとうございます。本年も WFP をよろしくお願ひ致します。

暖冬ということでこれまであまり寒さを感じなかったこの冬ですが、ここ数日は大雪に見舞われている所も多々あるようで、お住まいの地域は大丈夫でしょうか？私の住んでいる愛媛県新居浜市は瀬戸内ということでほとんど雪が降らない地域です。今年はまだ雪は見ておりません。

世間では、某バラエティアイドルの不倫騒動や SMAP の解散騒動、バス転落事故などが報道を賑やかしていますが今年は波乱の多い年になるような予感がしますね。平穩無事な 1 年でありますように。

今年 2016 年は WFP にとっても節目の年となります。2016 年 10 月に発行する本誌が通算 100 号（足かけ 8 年 4 ヶ月）となるからです。途中数日の発行遅れはあったものの何とか続けてこられたのも皆さんのおかげです。あと 9 号何とか体に気を付けつつ頑張っていきたいと思ひます。

ネット上でブログやツイッターでフェアリーの話を書いて頂いている方々も増えて少なからずフェアリー詰将棋の裾野が広がってきているように思ひます。その流れに乗って少しでも WFP の読者が増えるよう頭を捻っていききたいと思ひます。ご期待下さい。

【募集】

は

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも 4 コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト 10、自己紹介、何でも OK です。

感想

第 91 号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々の HP アドレス

*ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

フェアリー時々詰将棋

<http://fairypara.blog.fc2.com/>

占魚亭残日録

<http://d.hatena.ne.jp/sengyotei/>

第78回WFP作品展(再掲)及び 第79回WFP作品展 担当：神無七郎



上は元日の朝の芥川。初日の出を待つ人々が
大勢集まっています。ところが人々が見つめる
先と違う場所から「太陽」は既に昇っています。
写真中央からやや右奥を拡大してみましよう。



霧に霞んで見えにくいですが、これは紛れも
なく、あの「太陽の塔」です。



私は高槻に約 40 年前から住んでおり、関東
にいた頃も長い休みには必ず帰省してしま
したが、自宅のすぐ近くから「太陽の塔」
が見えることは知りませんでした。この像
は個性的では

あるものの、周囲の建物に比べて際立って
大きくはなく、肉眼では判別が難しいので
す。今回も写真を撮っているときにはま
ったく気付いていませんでした。元旦に
「太陽の塔」が見えたから縁起が良いとい
うことは特にないのですが、新発見とい
うのは、たとえそれが小さいことでも
嬉しいものです。これからは空気が澄んだ
日に「太陽の塔」を探して遠くを眺める
のが私の習慣になるかもしれません。

皆さんも大きなものから小さなものまで
様々な発見をされるとと思いますが、詰
将棋の世界での発見はどんどん共有して
いきましょう。そして、この WFP 作品
展を発見の共有の場として活用してくだ
さい。

なお、冒頭の写真を撮った 10 分後、今
度は本物の太陽が姿を見せてくれました。



新年あけましておめでとうございます。

さて、今回の WFP 作品展は再々掲とな
る第 78 回分と新規出題の第 79 回分です。
例によって難問・奇問のオンパレードで
すが、正月気分がまだ残っている人も、
そうでない人も、気を引き締めて臨
みましょう。

〔第 78 回作品展各題への補足説明〕(再掲)

第 78 回の出題は全 12 題。内訳は神無
太郎氏 1 題、DD++氏 3 題、変寝夢氏
5 題、上谷直希氏 3 題です。出題は投
稿順なので、難易度とは関係ありませ
ん。解き易そうなものから手を付ける
ことをお勧めします。

78-1 は神無太郎氏の協力自玉ステ
イルメイト。「第 43 回神無一族の氾
濫」向けに作られた作品の一つです。
使われているフェアリー駒は「騎」。
持駒を見ると飛や角といった大駒や、
4 枚もの騎という利きの大きな駒ば
かりですが、これらをうまく処理し
て、合法手のない状態を作ってください。

78-2~78-4 は DD++氏による穴
空き盤を使

った作品です。「穴（今回から○で表記）」は、着手はできず、飛角香などが通過できる場所を表します。この3作は「穴」が斜・横・縦のストライプ状に配置され、見た目も美しいですね。もちろん外見だけではなく手順も面白いですよ。

78-5～78-9 は変寝夢氏によるバラエティに富んだ駒やルール作品群。とはいえ、まったく新しい駒やルールではなく、一度は本作品展に登場したものや、その変種なので、過去問が良い参考になると思います。

まず、**78-5** は Moa という駒を使った作品。これは Mao (中国将棋の馬、合駒の利く八方桂) を 45° 傾けた利きを持つ駒で、本作品展では **64-2** として登場しています。Moa は Mao と合駒の利く場所が違うので混同しないよう注意してください。

78-6 は中立駒の Locust (蝗) が使われています。中立駒の先後双方にとって敵駒であるという性質、Locust は跳び先が埋まっていると取れないという性質をうまく利用してください。

78-7 は中立駒の銀が主役。スタイルメイトの達成にはこの銀を取らせるか動けなくしないといけません。可成範囲の近くなので、手番によっては成ることも可能な場合がありますが、果たして「成」は出てくるのでしょうか？ もちろんスタイルメイトの達成には Lion (鬣) の使い方も大きな鍵になります。今月の変寝夢氏の作品群の中では最も難しい作品かもしれません。

78-8 と **78-9** は前回も登場した「レトロ」ルールの作品です。このルールは、馬鹿な手を指した後で、「待った」をするのと同じなので本当に「ばか詰」的な感覚を味わえます。なお、今回の2作はどちらも攻方に王手義務があることを前提にしています。**78-9** は逆算手数が多いですが、駒数制限があるので逆算の方向性を間違えなければ、きっと解けるでしょう。

78-10～78-12 は上谷直希氏の作品。ルールはすべて異なります。

78-10 は普通の協力詰。でも、作品には上谷氏らしく、ちゃんと「狙い」があります。解図を始めるならきつとここからですね。

78-11 は今回唯一の協力系でない対抗系ルールの作品。「強欲」という条件が付いている以外は、普通の詰将棋と同じルール設定で作られています。「最善詰」ではありません。）また、作意には透かし詰が使われており、最終2手には変同があります。

78-12 は透明駒を使った作品。協力詰ですか

ら、もちろん透かし詰はダメですよ。第76回の透明駒作品で予習をして臨んでください。

〔第79回作品展各題への補足説明〕

第79回の出題は全12題。内訳は神無太郎氏4題、久保紀貴氏1題、変寝夢氏7題です。出題は例によって投稿順。以下の説明を読んで、易しそうなもの、あるいは自分の好みに合いそうなものから解図を始めると良いと思います。

79-1～79-4 は神無太郎氏の協力自玉スタイルメイト。「第43回神無一族の氾濫」で出すには難し過ぎると判断された作品がこちらでお目見えとなりました。使われているフェアリー駒は Grasshopper (G)。受方の持駒は標準の残り駒すべてと G5 枚です。G の枚数が 5 枚というのは 10 手で合駒として登場できる上限に合わせたもので、すべて使うとは限りません。

79-5 は本作品展では初登場となる久保紀貴氏の作品。氏が Andernach に興味を持ったのはつい最近のことだそうです。作者の実力はこの作品にも充分反映されています。Andernach は駒を取る時に相手の駒になる…つまり非常に王手が掛けにくいルールですが、その特性をこの作品でどう利用しているか注目してください。

79-6～79-12 は変寝夢氏の作品。いろいろなルールの作品が並んでいるので、ルール説明や以下の補足説明をよくお読みください。

まず、**79-6** は Locust (蝗) を使った協力自玉スタイルメイト。Locust は Grasshopper と似ていますが、動きは異なるので **79-1～79-4** と混同しないよう注意してください。Locust はジャンプ台となった駒を取ること、ジャンプ先が埋まっていると跳べないことの2点が大きな特徴で、Grasshopper と大きく異なる手順が味わえるはずです。

79-7 は持駒に普通の角と中立駒の角が1枚ずつあります。手数が4手ですから、2枚とも打つしかないのですが、さてどちらをどこに打つのでしょうか？

79-8 は将棋盤上のチェスプロブレム。Pawn の基本的な動き方（取らないときは前に一つ、取る時は斜め前に一つ）や、相手陣最上段（三段目ではありません）で成るという設定、成る時は4種類（QRSB）の成駒を選べるという設定もそのまま持ってきます。ダブルステップやアンパッサンの設定がどうなっているか不明ですが、とりあえず本局には関係ありません。また、攻方に王手義務がないのも Helpmate そ

のままです。複数解を求める問題形式もチェスプロブレム風。少し違うのは、攻方から指し始めることと、取った駒が持駒になること。また、手数の数え方も詰将棋流です。チェスプロブレム風だからといって受先で6手指してはいけません。易しいので4解すべて求めてください。

79-9～**79-11** は指定手数逆算して1手詰の形を作れという「レトロ」の作品。**79-9**と**79-10**は攻方に王手義務がない前提で逆算します。ただし、受方の持駒が制限されているので、逆算の選択肢もある程度制限されています。もちろん、逆算手順に王手放置などの反則があってはなりません。**79-11**は攻方に王手義務がある代わりに、受方持駒は残り全部です。駒台から何を持ってくるかが重要ですね。

79-12は攻方だけが6手連続で指して詰めよという問題。途中で(詰まない時に)王手を掛けてはいけません。**Rose**(薔)という強力な駒が使われているのでどうやっても詰みそうですが、厄介なのはPWCという条件。PWCでは攻方の駒が増えないわけですから、**Rose**1枚で詰めねばなりません。やみくもに駒を動かす前に、きちんと作戦を立てましょう。

解答要項

第78回分解答締切:2016年2月15日(月)

第79回分解答締切:2016年3月15日(火)

宛先:janacek789@ybb.ne.jp(メールの件名に「解答」の語句を入れてください。)

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。(原則として毎月15日の投稿まで当月号に掲載します。)宛先は解答と同じjanacek789@ybb.ne.jpへ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。



ルール説明

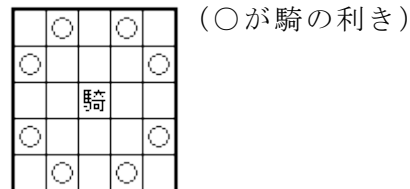
※WFPのページにまとめ資料 (<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfpr2015.pdf>)があるので、それも参考にしてください。

【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短路で攻方をスタイルメイト(王手は掛かっているが合法手のない状態)にする。

【ナイト】(騎)

チェスのナイト。八方桂。



【協力詰】

先後協力して最短路で受方の玉を詰める。

【穴】(○)

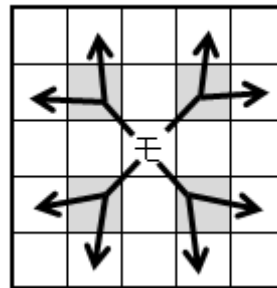
着手はできないが、走り駒が通過することはできる箇所。(※以前は◆で表記していましたが、○に変更しました。)

【協力自玉詰】

先後協力して最短路で攻方の玉を詰める。

【Moa】(モ)

中国象棋の馬(Mao)の斜め版。合駒の利く八方桂。**Mao**が上下左右のマスに駒があると先に進めないのに対し、**Moa**は斜めのマスに駒があると先に進めない。



(一旦斜めに一マス進み、次いで縦横に一マス進んだ八方桂の位置に着地する。網掛けで示した所に駒があると、その先のマスに進めない。)

【中立駒】(「」あるいは「n駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。

横向きの字か横にnを付加して表記。

(補足)

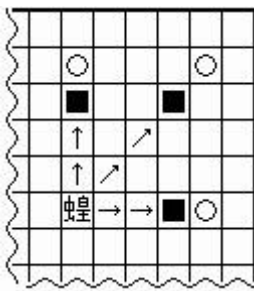
- 1) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる(利きが非対称な駒の場合に要注意)
- 2) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻つ

たときには中立駒として振舞う。

- 4) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5) 二歩禁が適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6) 中立駒は行き所ない駒にならない。
→詳細は WFP61 号の「中立駒の紹介」参照。

【Locust】(蝗)

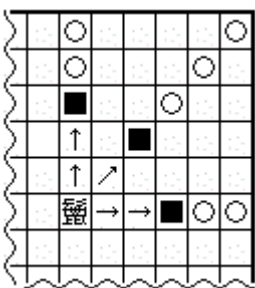
フェアリーチェスの **Locust** (蝗)。クィーンの利きの方向にある敵駒を跳び越えその先の空きマスに着地し、跳び越えた敵駒を取る。



(○が蝗の利き。
■は敵駒。■が味方の駒だったり、○の地点が埋まっていると跳べない。)

【Lion】(鬘)

フェアリーチェスの **Lion**。クィーンの利きの方向にある駒を1つ跳び越えその先の任意のマスに着地する。着地点に敵駒があれば取れる。



(○が鬘の利き。
■は敵または味方の駒。○の地点が埋まっていると、その先には跳べない。)

【レトロ -m+n 手】

m 手逆算して n 手で詰む手順を求める。
(補足)

- 1) 特に注釈のない場合、逆算も攻方王手義務があることを前提とする
- 2) 協力系の場合逆算も双方が協力する

【強欲】

駒を取る手を優先する。

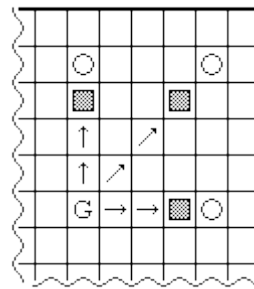
【透明駒】

位置・種類が不明の駒。着手の合法性、攻方王手義務を満たせる可能性があれば、それを満たしているものとして手順を進めることができる。

→透明駒の詳細及び例題は、WFP83 号「透明駒のご紹介」等を参照してください。

【グラスホッパー】(G)

フェアリーチェスの駒。クィーンの線上で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



(○が G の利き)

【Andernach】

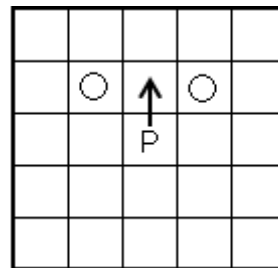
駒取りを行った駒(玉を除く)は、その場で相手の駒となる。

(補足)

- 1) 取ると二歩になる場合、相手の駒にならない
- 2) 駒の向きの転換は成生の選択の後に行われ、成生の選択権は駒を取った側にある
- 3) 駒取りの場合に限り、8段目への桂の不成、9段目への桂香歩の不成が可能(二歩の例外を除く)

【Pawn】(P)

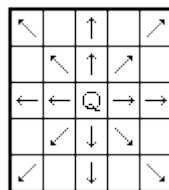
チェスの **Pawn**。駒を取らない時は一つ前に、駒を取る時は斜め前に進む。敵陣最上段で強制的に成り、成った後の駒は Q (飛+角)、R (飛)、B (角)、S (騎) の4種から選択できる。



(○が駒取りの利き。駒を取らないときは矢印方向に進む。)

【Queen】(Q)

チェスのクィーン。飛車と角を合わせた性能を持つ。



(矢印が Q の走る方向)

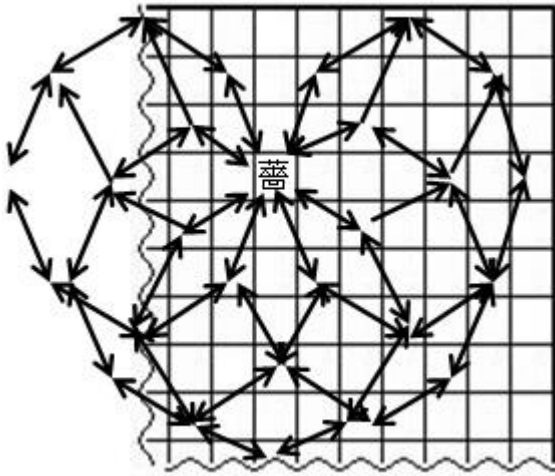
【PWC】

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。(駒位置の交換となる)

【Rose】(薔)

フェアリーチェスの Rose。

円形に進むナイトライダー。途中に駒があつたり盤をはみ出したりするとそこから先に行けない。



【連続詰】

攻方が連続して指して最短手数で受方の玉を詰める。ただし、詰むとき以外に王手を掛けてはいけない。



《第 78 回 WFP 作品展》 (再掲)

解答締切：2016 年 2 月 15 日 (火)

■ 78-1 神無太郎氏作

協力自玉スタイルメイト 12手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
						王		王	八
									九

持駒 飛角騎4

※駒：Knight

■ 78-2 DD++氏作

協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

	○		○	飛	○		○		一
○		○		○		○		○	二
	○		○		○		○		三
○		○		○		○		○	四
	○		○	王	○		○		五
○		○		○		○		○	六
	○		○		○		○		七
○		○		○		○		○	八
角	○		○		○		○	角	九

持駒 飛

※○：穴 (着手不可、通過は可)

■ 78-3 DD++氏作

協力詰 17手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
桂		飛				飛		桂	二
○	○	○	○	○	○	○	○	○	三
			王						四
○	○	○	○	○	○	○	○	○	五
香								香	六
○	○	○	○	○	○	○	○	○	七
									八
○	○	○	○	○	○	○	○	○	九

持駒 香

※○：穴 (着手不可、通過は可)

■ 78-4 DD++氏作

打歩協力詰 53手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
○	○	○	○	○	○	○	○	一
○	○	○	○	○	○	○	○	二
○	○	○	○	○	○	○	○	三
○	○	○	○	○	○	○	○	四
○	○	○	○	○	○	○	○	五
○	○	○	○	○	○	○	○	六
○	王	○	歩	○	○	龍	○	七
○	○	○	歩	○	○	○	○	八
○	王	○	○	○	○	○	○	九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

※○：穴（着手不可、通過は可）

■ 78-5 変寝夢氏作

協力自玉詰 4手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
								六
							王	七
								八
							王	九

持駒 飛モ

※モ：Moa（中国象棋の馬を45度回転）

■ 78-6 変寝夢氏作

協力自玉詰 4手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						王		一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 角n蝗

※n蝗：中立Locust

■ 78-7 変寝夢氏作

協力自玉スタイルメイト 10手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
						王		二
						桂		三
							王	四
						銀		五
						鬮		六
								七
								八
								九

持駒 桂香

※鬮：Lion、n銀：中立銀

■ 78-8 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -2+1手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
						王		二
						銀		三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 桂

■ 78-9 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -10+1手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
						角		二
								三
								四
								五
								六
						王		七
								八
								九

攻方持駒 なし

受方持駒 金

■ 78-10 上谷直希氏作

協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
						遊				二
						香	香			三
				と		王		飛		四
						飛				五
				角						六
						桂				七
										八
										九

持駒 なし

■ 78-11 上谷直希氏作

強欲詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
									王	二
										三
						飛	香		角	四
									飛	五
										六
										七
										八
										九

持駒 角桂

■ 78-12 上谷直希氏作

協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
									王	二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 香

※透明駒 攻方1枚、受方1枚

《第79回 WFP 作品展》

解答締切：2016年3月15日(火)

■ 79-1 神無太郎氏作

協力自玉スタイルメイト 10手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									王	一
										二
										三
										四
								王		五
										六
										七
										八
										九

攻方持駒 香G4

受方持駒 残り全部+G5

※G:Grasshopper

■ 79-2 神無太郎氏作

協力自玉スタイルメイト 10手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

王								王		一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

攻方持駒 角G4

受方持駒 残り全部+G5

※G:Grasshopper

■ 79-3 神無太郎氏作

協力自玉スタイルメイト 10手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
	王					王				九

攻方持駒 飛G4

受方持駒 残り全部+G5

※G:Grasshopper

■ 79-4 神無太郎氏作
協力自玉スタイルメイト 10手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
							王		九

攻方持駒 飛G4
受方持駒 残り全部+G5
※G:Grasshopper

■ 79-5 久保紀貴作
Andernach協力詰 11手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								飛	一
								銀	二
									三
									四
								王	五
									六
									七
									八
								香	九

持駒 なし

■ 79-6 変寝夢作
協力自玉スタイルメイト 8手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
					飛				六
					王	金			七
									八
					王				九

持駒 銀2
※蝗:Locust

■ 79-7 変寝夢作
協力自玉詰 4手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
									三
							王		四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角n角
※n角:中立駒の角

■ 79-8 変寝夢作
非連続王手協力詰 3手 ※4解
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
		P		王					二
									三
		王		王					四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし
※P:Pawn、Q:Queen

■ 79-9 変寝夢作
非連続王手レトロ協力詰 -6+1手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
							王		四
						桂			五
									六
									七
								馬	八
									九

攻方持駒 なし
受方持駒 なし

■ 79-10 変寝夢作

非連続王手レトロ協力詰 -6+1手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
							歩		二
								王	三
							ス		四
									五
			金						六
									七
									八
									九

攻方持駒 銀

受方持駒 なし

■ 79-11 変寝夢作

レトロ協力詰 -2+1手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
								王	七
						龍			八
							銀		九

持駒 なし

■ 79-12 変寝夢作

PWC連続詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
				ス			ス		二
						ス			三
	蓄								四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

※蓄:Rose (円形ナイトライダー)

以上

推理将棋第97回出題

担当：NAO

今回と次回は募集していた年越・年賀推理将棋を特集します。Pontamonさん、はなさかしろうさん、渡辺秀行さん、斧間徳子さん、DD++さんの5名の方から投稿いただきました。多数のご投稿ありがとうございます。年賀詰定番の11手詰が少なく、解き応えのある中編が揃いました。例年と比べると手数が多い分、難しいかもしれませんが、推理を存分に楽しんでいただけたら幸いです。

作品数が多いので、年賀特集は97、98回の2回に分け、次の通り変則出題といたします。

今後の本コーナー予定

第97回（年賀4題）：12月24日出題、1月20日〆切り

第98回（年賀4題）：1月1日頃出題、2月20日〆切り

第99回（9手詰難解作）：2月24日頃出題、3月20日〆切り

第100回（10手詰難度ゼロ）：3月下旬出題

第101回（10手詰1条件）：4月下旬出題
※第99回以降の特集作品も募集継続しています

■本出題

第97回は年越・年賀推理将棋特集の第一弾、11手から27手の4問を出題します。

1問目、はなさかさん作は先手着手地点の積が2016になる11手詰手順を2解求める問題。手数は短い今回の最難問です。2問目は2015年に最も多くの作品を投稿いただいたPontamonさん作の12手詰。一人ぼっちの玉を豪勢に詰め上げます。3問目は担当作。20手目16着手で28玉を詰ます手順で“2016”と“28”を関連づけました。4問目は渡辺さん作の27手詰。平成27年に届いた前年の年賀詰を振り返ります。続編の28手詰は次回に出題。

97-1 中級 はなさかしろう 作

指し初め*2016*二番 11手（2解）

3手目迄は必然手。1筋と1段目の上手な使い方を推理しよう。

97-2 中級 Pontamon 作

豪勢な詰め 12手

一人ぼっちの玉が詰む形を推理しよう。

97-3 中級 NAO 作

2016の決め手 20手

28玉が16の手で詰む形を推理しよう。

97-4 中級 渡辺秀行 作

推理敵からの年賀状 27手

8回目の端香の手で詰む形を推理しよう。

97-1 中級 はなさかしろう 作

指し初め*2016*二番 11手（2解）

「あけましておめでとうございます！指し初めに来たよ」

「謹賀新年！ではさっそく、振り初めを…。一局目は君の先手だね。恒例どおり、元日にちなんで11手で詰みにするとして、今年の味つけはどうする？」

「2016年だから・・・11手だと先手は6手指すので、それぞれの手の着手点の筋と段を示す数を全部掛け合わせたら2016になるように指してみようかな」

「なるほど。棋譜表記が同の手の場合でも、同じ着手点に何回か指した場合でも、一手ごとに着手点の筋と段の数を出して、得られた12個の数の積を2016にすることにしよう」

「うむ……いざ参る」

「よし来た、アシストは任せてよ」

「これで11手目、先手の着手点の筋と段を示す数の積が2016になって詰んだね」

「玉を寄る手に対して成る手で応じていたけれど、結局成る手はその一手だけだったね」

「今度は君の先手だよ」

「うむ……アシストは頼んだよ」

「これで11手目、先手の着手点の筋と段を示す数の積が2016になって詰んだね」

「今度も玉寄りに対して唯一の成で応じたけれど、手順は一番目と違っていたね」

「二番とも狙い通りで、幸先良いね」

さて、指し初めの二番とはどんな将棋だったのだろうか？

（条件）

1) 11手で詰んだ

2) 先手の着手点の筋と段を示す数の積が2016 ※

3) 玉寄りに対して唯一の成で応じた

以上の条件を満たす手順が2通り

※本問では、棋譜表記が同の手の場合も着手点

の筋と段を示す数をカウントしますし、同一地点に複数回着手があってもそれぞれ別個にカウントします。例えば、▲2六歩△4二玉▲2五歩△2四歩▲同歩△3二玉▲2五飛△4二飛▲2三歩成まで9手で詰みの手順の場合、先手の着手点は26～25～24～25～23ですので、着手点の筋と段を示す数の積は $2 \times 6 \times 2 \times 5 \times 2 \times 4 \times 2 \times 5 \times 2 \times 3 = 57600$ です。

97-2 中級 Pontamon 作 豪勢な詰め 12手

「おっ、年賀状か。推理将棋も付けるんだ」
「新年は2016年だから、16地点の駒を動かす手がある12手だよ」
「前年の元旦には”駒打ちは1回だよ”って電話して来たけど、これは大丈夫？」
「”1”の条件をたくさん付けたから、多分、大丈夫だと思うよ」
「どんな条件？」
「まず、詰んだ玉は一人ぼっち」
「何それ？」
「玉の周りの8マスに駒が無いってことさ」
「あとは？」
「駒成りは1回で、歩の着手は1回だよ」
「一人ぼっちだとか1回きりだとか、何か寂しい感じだね」
「いや、詰み上がりを見てよ。豪勢な感じの詰みだろ」
さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・12手で詰んだ
- ・16地点の駒を動かす手があった
- ・詰んだ玉は一人ぼっち(玉の周り8マスに駒は無かった)
- ・駒成りは1回
- ・歩の着手は1回

97-3 中級 NAO 作 2016の決め手 20手

「新年の指し初めはどうだった？君は後手番だったね」
「ああ、2筋の手を8回と1筋の手を1回指して勝ったよ」
「平成28年の元旦にぴったりだね」
「それだけじゃないよ。20手目16地点の着

手が初王手で28の玉を詰ませたんだ」
「なるほど、2016の決め手で平成28年の玉を捕らえたってことか。今年はイケイケだね」
「イケイケGOGOじゃないけど、こっちが5連続で2筋に着手した後、相手も5連続で2筋に着手したんだ。不成の手も5回あったよ」
さて、どんな将棋だったのだろうか？
そして2016年、貴方の勝負手は？
(条件)

- ・20手目16地点の着手が初王手で28の玉が詰んだ
- ・後手は、2筋に8回、1筋に1回着手した
- ・後手が5連続で2筋に着手した後、先手が5連続で2筋に着手した
- ・不成の手が5回あった

97-4 中級 渡辺秀行 作 推理敵からの年賀状 27手

「去年の年賀状を整理していたら、あいつからの年賀状が見つかったよ」
「ふむふむ、確かこんな問題を出題してきたなあ。どれ、見てみるか？」
<簡条書条件を見せる>
「今年の年賀はそれをちょっと変えて出してやったんだ」
「俺の作った返しも見せて欲しいだって？まあ、そう慌てるでない」

<簡条書条件>

- ・27手で詰んだ
- ・先手はある端歩を6連続で動かした後、ある端歩を8連続で動かした
- ・駒成は不成だと反則になる場合だけ
- ・後手は、唯一の金の着手である金を寄る一手を除いて駒を安い順(※1)に指した
- ・後手は、同種駒に関しては9筋から1筋へ向う順に着手して行った(※2)

(※1)歩と香杏桂圭銀全金角馬飛龍玉の順
(※2)同じ筋に連続して着手するのは良いがより9筋側に着手してはならない。
例えば7筋に桂を着手すると、それ以降8筋9筋に桂を着手する可能性はなく、7筋に桂を着手する可能性はある。もちろん駒種が銀などに変ればまた9筋から着手しても良い。

推理将棋第98回出題

担当：NAO

あけましておめでとうございます。本年も推理将棋をよろしくお祈りします。

第98回は年越・年賀推理特集の第二弾。11手から28手までの4題を出題します。

1問目は初級11手詰。特集8題中唯一の初級問題は担当からのお年玉です。2問目斧間さん作の中級16手詰。先後各々の同種駒を上手に使う手順を見つけましょう。3問目は渡辺さん作の上級28手詰。97-4の続編です。前年のお返しにはどんな年賀状を送りましょうか。4問目はDD++さん作の上級28手。友人からの無茶な要求にどう応じましょうか。

今後の本コーナー予定

第97回（年賀4題）：12月24日出題済み、1月20日✂切り

第98回（年賀4題）：1月1日出題（今回）、2月20日✂切り

第99回（9手詰難解作）：2月24日頃出題、3月20日✂切り

第100回（10手詰難度ゼロ）：3月下旬出題

第101回（10手詰1条件）：4月下旬出題
※第99回以降の特集作品も募集継続しています

[2016年1月2日更新] 98-1 余詰修正

98-1 担当作に余詰がありました。粗検深くお詫び申し上げます。

98-1 修正

会話文「派手に駒が成った」→「7手目に駒が成った」

条件文「成る手があった」→「7手目に駒が成った」

なお、解答につきましては元の条件を満たしていれば正解といたします。

余詰をご指摘いただいた小木さん、DD++さん、ありがとうございました。（1月2日 NAO）

■本出題

98-1 初級 NAO 作

1筋の香 11手

1筋の香とは何段目の香か、推理しよう。

98-2 中級 斧間徳子 作

2016(平成28)年の指し初め局 16手

5回王手が掛かる手順を推理しよう。

98-3 上級 渡辺秀行 作

推理敵への年賀状 28手

先手の“ある駒”の軌跡を推理しよう。

98-4 上級 DD++ 作

新年の無茶振り 28手

後手の“11と”で詰む形を推理しよう。

■締め切り前ヒント（2月13日頃コメント欄に掲載 NAO）

98-1 初級 NAO 作

1筋の香 11手

「さっきの勝負どうだった？正月らしく派手に駒が成った7手目に駒が成ったそうだけど」

「11手目に1筋に香の手を指して詰ませて勝ったよ」

「おめでとう。2016年の指し初めにふさわしい一局だね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？
そして2016年、貴方の勝負手は？

（条件）

- ・11手目に1筋の香の手で詰んだ
- ・成る手があった7手目に駒が成った

98-2 中級 斧間徳子 作

2016(平成28)年の指し初め局 16手

「昨日の指し初め局は勝ったかい？」

「うん、16手目に28に着手した5回目の王手で相手玉を詰ましたよ」

「へえ、16手目に28の手で詰めたとは、今年の年初にふさわしい一局だね。で、どんな将棋だったんだい？」

「相手は3手目からずっと同じ種類の駒の手を指し続けてきたんだ。そこで猿まねというんじゃないけど、僕も4手目からずっと同じ種類の駒の手を指し続けたんだ。駒を成る手はなか

ったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・16手目の28への着手で詰んだ
- ・先手は3手目以降、同じ種類の駒の手を指し続けた
- ・後手は4手目以降、同じ種類の駒の手を指し続けた
- ・王手が5回あった
- ・駒を成る手はなかった

98-3 上級 渡辺秀行 作 推理敵への年賀状 28手

「そう言えば、今年に出し返した問題を見せて欲しいって言ってたな。いいよ。どうだ、いい感じの返しになっているだろ？」
〈箇条書条件を見せる〉
「なにに簡単だって？まあ有り得る詰形がそんなにならね」

〈箇条書条件〉

- ・28手で詰んだ
- ・後手はある端歩を6連続で動かした後、同じ端の筋の8箇所を香を着手した(※)
- ・駒成は不成だと反則になる場合だけ
- ・先手はある駒をこれまで居たことがない所に丁度11連続で動かしたが、うち6手は1筋側に寄る手であった
- ・5筋の着手が2度あった

(※) 香を移動する手と香を打つ手が可。香が移動して成も不成も可。成香の移動は不可(香の着手と見做さない)

98-4 上級 DD++ 作 新年の無茶振り 28手

「新年あけましておめでとう。早速指し初めしようぜ」

「ふむ、平成28年の1月1日か。では僕は28手目の『11と』で君の先手玉を詰ませたいのでよろしく」

「え？」

「それと僕は、初志貫徹で1枚の駒を着手し

続けたい。ああ、でも、27年は終わったし、その駒で27地点に立ち寄りたくはないな」

「は？」

「君も僕もそれぞれ、唯一の成は駒を取らずに指したいね。お互い欲張った一年にはしたくない」

「ねえ、待って」

「その上で、君は歩を初手しか指さないのも成駒を動かさないのも余裕だよな」

「あの、ちょっと意味がわからないんだけど」

「なんだい。君が指し初めをしたいと言っただろう。じゃあ始めようか」

さて、あなたは注文通りに指して無茶振りに応えることができるだろうか？

(条件)

- ・28手目の「11と」で詰みにしたい
- ・後手は、27を避けて同じ駒を着手し続けたい
- ・先後それぞれ、唯一の成は駒を取らずに指したい
- ・先手は、歩の手は初手だけ、成駒の手はなしにしたい

Fairy of the Forest #46

■ 2015年11月20日：課題発表：(協力詰)

龍または攻方王が活躍する作品

■ 2016年01月15日：投稿締切

■ 2016年01月20日：出題

□ 2016年02月15日：解答締切

□ 2016年02月20日：結果発表

■ 出題

今回は、たくぼん氏から7手詰3題と、七郎氏から63手詰1題。私もお粗末ながら7手詰を1題作ってみました。手数バランスは良くないのですが、内容は楽しめると思います。02は受方持駒制限にご注意を。また、03と04は「姉妹作」とのこと。

多数のご解答をお待ちしています。

(解答先)

→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

■ 46-01 神無八級 協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							皇		一
									二
								王	三
								王	四
									五
							龍		六
									七
									八
								皇	九

持駒 なし

■ 46-02 たくぼん 協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						皇			三
						王			四
			皇						五
									六
			皇		香	玉			七
							香		八
		香	香				角		九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

■ 46-03 たくぼん 協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
皇			皇						四
									五
王	皇								六
									七
	龍								八
桂									九

持駒 なし

■ 46-04 たくぼん 協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
皇			皇						四
									五
王	皇	皇							六
									七
	龍								八
桂									九

持駒 なし

■ 46-05 神無七郎 協力詰 63手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						皇	香	銀	一
					歩		香		二
								皇	三
							皇	王	四
							皇		五
							皇		六
							皇		七
						龍			八
					香	玉			九

持駒 歩14

強欲な世界 パート4

約1年ぶりに復活の強欲な世界の今回はパート4になります。昨年2月3月と強欲な世界パート2, 3で10作発表しましたが、それ以降暇をみては創っていましたが、WFP作品展に投稿できるレベルの作品がなかなか出来ず。私のフォルダは増える一方でした。そんな作品群に日の目を当てるにはやはりこの場しかないということで開催します。解答は、最終手だけでも可。Kif ファイル添付でも可ですが、感想は出来るだけお願いします。

出題順はいつもの通りfmの局面解析数の少ない順です。必ずしも難易度と同じではないかもしれませんが。

(解答先)

→たくぼん (takuji@dokidoki.ne.jp)

1番 強欲協力詰 75手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							香	と	一
				と			歩	飛	二
			銀		桂	皇	香	と	三
		歩	歩				と		四
	王		入	歩	と		と		五
桂		歩		香			と		六
皇		香	銀	角	歩				七
歩	歩	香	歩	香	桂		と		八
皇			飛	皇		桂		銀	九

持駒 なし

2番 強欲協力詰 77手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				龍				と	一
		歩		角			王	歩	二
と	龍		入	歩	歩			歩	三
	歩	香	歩	香				香	四
	歩							銀	五
歩	桂	桂	杏		歩	香	歩	桂	六
		入	皇		香		香	と	七
				香	角		銀	香	八
			香		と				九

持駒 なし

3番 強欲協力詰 85手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
歩	王			銀	歩	入	銀		一
				香		と	と		二
				歩	香				三
	歩			香	歩				四
角		歩			歩	香		歩	五
		入				歩	入		六
		香		香			歩	桂	七
桂	と	香		飛	飛	金	香	桂	八
香			歩		皇			桂	九

持駒 なし

4番 強欲協力詰 73手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
				飛			角	角	二
歩			王		入	入	歩		三
龍								入	四
金		銀	銀	歩	金	金	と	歩	五
	桂					入	入	銀	六
		歩	歩	歩	歩	桂	銀	入	七
歩	桂						歩	金	八
桂		香	香	香	香			歩	九

持駒 なし

5番 強欲協力詰 81手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
				銀		入	龍		二
銀		香				入	と		三
		歩							四
						香	桂	と	五
歩	香							歩	六
角	香	香	歩	歩	歩	歩	入		七
	香	歩	歩	歩	歩	皇	龍	香	八
金	入	王	桂	桂	香	香	桂		九

持駒 なし

フェアリー版くるくる作品展5解答

解答者は、5名でした。手数は長いのですが繰り返し手順となりますので実質中短編といえるでしょう。新しい方の解答を得られずちよつと残念です。

作者のやよいさんは本家くるくる展示室で活躍中で、今回新たにフェアリーに挑戦して頂きましたが、作品もくるくるでありながらしっかり創られており完成度の高さはさすがと唸った次第。解答者の皆さんも満足されたようです。今後もよろしくお願ひします。

今回のテーマ持駒が邪魔駒はなかなか面白いテーマであり、分かりやすい機構が構築できるという点でもっと発表作があってもいいと思うのです。過去の作品を1つ紹介します。

詰将棋パラダイス 1982年11月
筒見香平作 ばか自殺詰 1118手

9	8	7	6	5	4	3	2	1					
									一				
							香	銀	歩	二			
							飛	科		三			
							角	飛	桂	王	四		
								科	飛		五		
									香		六		
							銀		玉	銀	香	金	七
							飛	桂	銀	王	香	金	八
										金			九

持駒 歩15

序は、25飛や邪魔な2つの金、88歩を消去した後は、25金-34金-23金-13金...19金...69金-88玉、89歩！同玉-79金-88金-98金-99金...29金...といった金追い+89歩(60手サイクル)で歩を消去して最後23金、同馬迄で収束します。

序(38手)+88歩取得(58手)+(金追い+89歩サイクル60手)×17+収束2手といった構造となっています。くるくる9のやよい作が銀追いでしたが金追いの作品は今から34年前にすでに発表されていたんですね。この手の作品に手をつける人が少なくほとんど進化していないという事実がはっきりしました。

くるくる8

やよい作 協力白玉詰 290手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
			金	金	香	飛			二	
				玉			桂	金	金	三
			銀	桂	桂				香	四
						銀				五
							桂	香	王	六
							銀	香	角	七
								銀		八
										九

持駒 角歩18

「43角 34飛 同角成 15玉 24馬 16玉 15馬 同玉 35飛 25角 同飛 16玉 15飛 同玉 16歩 同玉」×18
43角 同飛 まで 290手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
			金	金	香				二	
				玉		飛	桂	王	金	三
			銀	桂	桂				香	四
						銀				五
							桂	香	王	六
							銀	香	角	七
								銀		八
										九

持駒 なし

作者

角打飛合～飛打角合の16手サイクル。サイクル手数はもう少し延ばせそうな気がするのですがうまく作図できず、取りあえずこの図で投稿させていただきます。

★パッと見分かりにくいですが初形で後手の持駒は飛のみです。どうやって歩を消去するか？持駒金 18 枚でもあれば、「15 金、同玉、16 歩、同玉」×18 なんて出来るのですが後手飛 1 枚のみ。43 角、34 飛以外はすぐに手が詰まるので手を進めてみると、飛を取って 24 馬～15 馬と馬を捨てて 16 歩、同玉と歩を消去することが出来ました。しかしその場面で持駒が飛ではにっちもさっちもいきません。持駒が角なら初形から歩が 1 枚減った局面になりますね。ということで 35 飛-25 角-同飛-16 玉-15 飛-同玉という持駒を飛から角に換える持駒変換が必要と分かります。16 手 1 サイクルで 18 枚の歩を消去して 43 角-同飛までとすっきりと分かりやすい組立でした。

橋本孝治

角合ができれば 10 手サイクル。飛合しかできないので、飛から角への持駒変換が入って 16 手サイクルに。玉の可動域を 2ヶ所に限定するという条件下で、1 サイクルをどこまで伸ばせるかというのは興味があります。

★可動域 2ヶ所でどれだけ 1 サイクルの手数を伸ばせるかを考えると配置駒を動かすか、持駒変換？はたまたそれ以外？どなたか挑戦してみてください。

占魚亭

同飛と取らせるまでの長い道のり。角→飛→角の変換が入る巧い作りです。

井上順一

飛角の持駒変換がうまくできている。攻方の初手と最終手が同じというのもいい。

★究極の様式美と言えるでしょう。

変寝夢

これは美しい。楽しめました

★私の第一感も「美しい」でした。

一乗谷酔象

短評なし

くるくる 9

やよい作 協力白玉詰 424 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						香			三
			金					龍	四
龍						桂			五
					角	桂	皇	桂	六
	玉			角	桂	香	銀	皇	七
			龍		香				八
	香		香	龍	王		龍		九

持駒 歩18

38 銀 58 玉 49 銀 67 玉 58 銀 56 玉 67 銀
 45 玉 56 銀 34 玉 45 銀 25 玉 34 銀 16 玉
 「25 銀 27 玉 16 銀 38 玉 27 銀 49 玉 38 銀
 58 玉 49 銀 67 玉 58 銀 56 玉 67 銀 45 玉
 56 銀 34 玉 45 銀 25 玉 34 銀 15 玉 16 歩
 同玉」×18
 25 銀 27 玉 16 銀 38 玉 27 銀 49 玉 38 銀
 58 玉 49 銀 67 玉 58 銀 56 玉 67 銀 同龍
 まで 424 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						香			三
			金					龍	四
龍						桂			五
				王	角	桂	皇		六
	玉		龍	角	桂	香		皇	七
					香				八
	香		香	龍			龍		九

持駒 なし

作者

銀の周回送り。あんまりと言えばあんまりな手順ですが、くるくるということ…。

★パッと見ごちゃごちゃしているように見えますが後手玉の動けるルートは分かりやすいのです。銀を使って追いかけていくとぐるっと1周することが出来ます。歩を使えるところは16歩です。初形で16桂配置なのでこの桂消去で1サイクル増えて19周。くるくる8の合駒物より易しく分かりやすい作品です。

橋本孝治

くるくる回ること19回。歩の捨て場所を16に統一している所が前局と共通ですね。金追い等で玉を左右に追う間に歩を捨てるパターンは昔からありますが、回転追い×持駒消去というのは珍しい気がします。

★金で追うのは先述した作品が代表例です。確かに回転追い型は余り見たこと無いと感じます。

占魚亭

銀追いのサイクルでここまで手数が増えさせるとは。凄い。

井上順一

周回コースでの銀追い。16桂を置いて1サイクル多く回転させている。この条件だと盤面に歩を置けないのでコース作りが難しそう。

★確かに歩18枚が使えないとすると舞台作りが作者の力の見せ所になりでしょうね。

変寝夢

勘違いをされていて解けませんでした。斜めでの密室タイプは初めて見ました。可能性を感じました。

一乗谷酔象

38～49～58～67が20回！一方向回転で19回半は回転数記録でしょうか？

★調べてはいませんが協力系でこれ以上回転させるのは難しいでしょうねえ。

【総評】

一乗谷酔象

さくっと解けたので（くるくるなので解答でなく）回答いたします。

★座布団1枚です。

引き続き作品募集

- ・ばか自殺詰
- ・持駒：歩18を含む
- ・通常盤
- ・解答で、どこかで「・・・」×17（18）と書くことが出来る
- ・通常駒数（後手持駒制限可・・・通常駒数以下OK）

*1歩消去サイクルが出来るだけ長手数になるよう期待しています。

送り先：WFP編集部まで



ちょっと早い2016年 年賀詰作品展

恒例のちょっと早い2016年年賀詰作品展、お屠蘇を飲みながら楽しく解いて頂けたでしょうか・・・。解答者は5名でした。ありがとうございました。今年もよろしくお願ひします。

解答者（敬称略）

橋本孝治、占魚亭、一乗谷酔象、井上順一、変寝夢

第1番 神無七郎作 強欲詰 29手

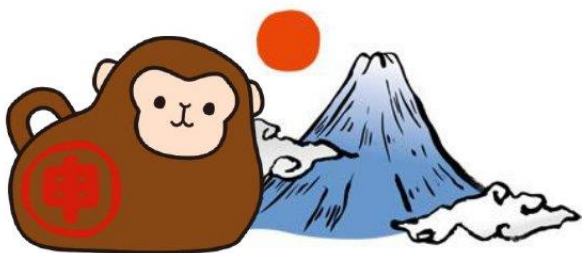
強欲詰 29手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九



持駒 銀3桂香

旧年中は大変お世話になりました
今年もよろしくお願ひします



- 84 と 同玉 73 銀 同玉 64 と 同玉
- 53 銀 同玉 44 と 同玉 33 銀 同玉
- 24 と 同玉 16 桂 33 玉 34 歩 同玉
- 25 金 同玉 29 香 16 玉 26 金 17 玉
- 27 金 18 玉 28 金 19 玉 18 金打 迄 29 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

作者コメント

強欲詰では桂を拠点とした裸玉が容易に作れるので、逆算で象形にしました。香の遠打から金ずらしの収束は、普通詰将棋の年賀詰の収束と合わせたものです。（創作したのは、この強欲詰の方が後。）

作者の普通詰将棋の年賀詰はこちら。
初形「サル」私の次の作品と字づらが被ってます（笑）が内容はこの初形からはまさかというような趣向が飛び出します。是非並べてみてください。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

★ 途中桂を打つ紛れはありますが、持駒に金が必要なければなかなか捕まりませんし、端に追い込まないと捕まりません。とりあえず銀を捨てて金を取りながら24まで運べば裸玉となります。協力詰ならまだしもかし

ここで詰むのかな？と思いますが、16桂が絶妙です、どこへ逃げようと25へ呼んでこれるので捕まっています。しかしそれも29香という手があるからでこれに気付かないと難しいかもしれません。29香は16桂という取らせ駒があるから成立するわけで、端に追い込むことが出来るのです。強欲詰もいろいろつついてみると面白い順が埋められているルールでこれから注目のルールだと思います。

占魚亭

裸玉になって不安になりましたが、強欲ルールがあるので駒を取らせて玉を引き戻し、ひと安心。

一乗谷酔象

狭い端に追い込むための16桂が打ちづらい井上順一

金3枚を入手できるとはいえ、一時的に無仕掛にするのは、このルールではやりにくい。玉に取らせるために端から桂を打つのが強欲らしい手。初形1で詰上がり0？

★ さすがに0は無理がある（笑）

変寝夢

真下の絵がヒントだったとは。33玉と逃げて1歩使わせるところが好み

★ たしかにお日様（初日の出）っぽい詰上がり。

第2番 たくぼん作 強欲協力詰 47手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		ス		ス					一
	香	歩	歩	歩	王				二
		金		香					三
				龍					四
									五
		香		銀					六
		香		王		銀			七
		香		歩	王				八
	香	金		ス					九

持駒 なし

52 香成 同と 同龍 同玉 62 金 同玉
 72 香成 同と 同香成 同玉 82 香成 同玉
 83 歩 同玉 84 歩 同玉 85 歩 同玉
 86 歩 同玉 87 歩 同玉 78 金 同玉
 67 銀打 同金 同銀 同玉 66 金 同玉
 57 銀 55 玉 46 銀左 56 玉 57 銀 47 玉
 48 銀右 58 玉 59 銀 57 玉 68 金 47 玉
 58 銀 48 玉 49 歩 59 玉 69 金 まで 47 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
					銀				八
				歩	王	金			九

持駒 なし

★ 「サ」の字が少々形が悪いのでイマイチですが、創るのは結構苦労しています。序は、紛れがありませんのでさくさく進むと思いますが、25手目から少々紛れて29手目66金が打ち難い一手で同玉とあっさり取るのが難しかったかもしれません。この位置の小駒での詰上がりです。最小4枚で準煙で、形は富士山っぽいかなと思ってました。七郎さんの年賀状の絵にも似てますね。

橋本孝治

24手目までは一瞬。そこからが少し骨が折れました。詰上りは水平線から少しだけ頭を出した太陽……初日の出ですね。煙詰の予想は外れましたが、目出度い縁起物です。

★ 日の出にも見えますね

占魚亭

一気呵成の捌き。終盤の銀繰りが一寸した考え所でしょうか。詰上りは小富士？

★ 感じ方は一緒でしたね。

一乗谷酔象

絶対手が続く中、細い攻めがきれそうなところ 66 金があった。二枚銀を連結させる手筋。

井上順一

78 金までは絶対なのだが、そこからが難しかった。三が日かせめて松の内に解答を送りたかったのですが。

変寝夢

29 手目 66 金が見えず（正確にはその後の同玉）撃沈。詰め上がりは 1 と同様、日の出でしょうか。来年は「トリ」でしょうか？

★ 皆さん 66 金に苦労されたようですね。強欲協力詰ではなかなか難手は入れにくいんですがなかなかの 1 手だったようです。

【総評】

一乗谷酔象

強欲系の作品は必然手が多いけど分岐点では攻めを繋ぐためはとつする急所の一手がありますね。1 番の 16 桂、2 番の 66 金、解図日記 1 の 38 銀

井上順一

本年もよろしくお祈いします。

★ こちらこそよろしくお祈いします。



100 号の企画

100 号の企画について現在頭にあるのが、1 人 1 作作品展というもの。作品展ではありますが、400 人一局集みたいに一人 1 ページ（もしくは数ページ）お渡しして、プロフィール+新作 1 作を必須事項として残りのスペースはフェアリーについて好きなことを書いて頂くというもの。解答期間は作品内容によって執筆者に決めて頂き、結果稿もお願いしてはどうかと思います。

過去に活躍されたフェアリストの皆さんで最近名前を見かけない方の復活も期待しているのですがどうでしょうか？

原稿用紙（word）もダウンロード出来るようにしたいと思います。

実際詳細は変わるかもしれませんが、この形での企画は実施と思います。これに関して、またこれ以外の企画についてご意見やご要望がありましたら編集部までメールにてお祈いします。

とにかく参加者が多くないと盛り上がらない企画ですので多くの参加の希望します。作品の準備もよろしくお祈いします。



ご意見送り先：

WFP 編集部(takuji@dokidoki.ne.jp)

天津包子作 協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
							王		八
									九

持駒 銀桂歩2

*6手目逃げ方が2つあり2解となる。

加賀孝志作「タワー」Q協力詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
				と					五
				桂					六
				〇					七
				桂					八
			銀		角				九

持駒 なし

Q : チェスのクイーン (飛+角)

加賀孝志作「奴風」Q協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				角					三
									四
				〇					五
				桂					六
		歩	金		科				七
									八
									九

持駒 なし

変寝夢作 16リーパー打歩協力詰 23手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
								PI	八
									九

持駒 歩9

16リーパー：縦1横6または縦6横1の動き。
18LPは22.77.79へ動ける。

占魚亭作 Q協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
				馬		飛			四
						歩			五
						〇			六
						驥		金	七
									八
									九

持駒 なし

Q : チェスのクイーン (飛+角)

小林看空作 ゼブラ王打歩協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
								鬃	八
									九

持駒 歩5

ゼブラ：縦3横2または縦2横3の動き

雲虚空作 ばか詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				ス	季				一
									二
		駒	歩	王	銀	金			三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

高坂研作 覆面1手詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				の	し	る	し		一
					え		え		二
					る	い	し		三
					よ		き		四
					し				五
									六
									七
									八
									九

持駒 よいさるのとし

図の平仮名に駒種を対応させ、更に向き付けをして、先手が後手を1手詰にできる局面を構成せよ

たくぼんの解図日記

たくぼん作 強欲協力詰 75手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
銀	銀							駒	一
季	と	と	と				歩	季	二
桂	ス	季	桂	と	桂		香	歩	三
							香	と	四
					と		と		五
			金		季	桂			六
		金	阜	角		角	香		七
		歩	龍	歩	歩	と		と	八
王			歩	龍			と		九

持駒 なし

79 龍 98 玉 88 龍 同玉 87 金 78 玉
 77 金 同玉 67 金 同玉 68 香 同龍
 同歩 58 玉 59 飛 同玉 47 歩 37 全
 48 角 68 玉 57 角 同玉 48 と 同玉
 38 と 同玉 28 と 47 玉 37 と 同玉
 36 と 27 玉 38 銀 36 玉 47 銀 26 玉
 25 と 同玉 36 銀 14 玉 25 銀 13 玉
 14 銀 24 玉 13 銀生 23 玉 12 銀生 22 玉
 11 銀生 同玉 12 歩 同玉 21 銀 同玉
 31 桂成 同玉 42 と 同玉 52 と 同玉
 62 と 同玉 72 銀成 63 玉 73 全 同玉
 83 と 同玉 82 金 93 玉 92 金 同玉
 93 歩 91 玉 92 金 まで 75手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王									一
金									二
歩									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

橋本孝治

33手目 38銀が中途半端に見えて打ちにくい。収束も 91 銀を動かす紛れに嵌り少し考えさせられましたが、「1」の詰上りに納得。年賀詰にふさわしい作品だと思います。

一乗谷酔象

流れるように手が繋がった。収束が切れそうで切れない。

占魚亭

38 銀からの捌きがとてもいいですね。実は収束でちょっと詰まりました(笑)

★33手目 38 銀から 47 銀の筋が見え難かったようです。そこと収束以外は流れるように進みます。

★手順は非公開作品もありますので省略

推理将棋第96回出題解説

担当：NAO

出題：平成27年11月24日
 解答締切：平成27年12月20日

今回は余詰2題と修正ミス連発、たいへん失礼いたしました。粗検を深くお詫びいたします。にもかかわらず、23名もの解答をいただき感謝、感謝です。

96-1 初級 渡辺秀行 作 金引の謎 9手

「謎だなあ、この41金引という棋譜は。たった9手で詰んだというのに」

「2手目と3手目は同じ筋に指したんだね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・9手で詰んだ
- ・41金引という棋譜表記があった
- ・2手目と3手目は同じ筋に着手した

出題のことば (担当 NAO)

"金引"と棋譜表記するために必要な手を推理しよう。

追加ヒント

6手目は51に金を寄る手。

推理将棋96-1 解答

- ▲7六歩 △4二金 ▲4四角 △5二玉
- ▲5三角不成 △5一金 ▲7一角成 △4一金引
- ▲5三銀 まで9手。

(条件)

- ・41金引 (8手目△41金引)
- ・2手目と3手目は同じ筋 (△42金 ▲44角)

詰上がり図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	馬		季	季	季	科	皇	一
	飛			王			馬		二
季	季	季	季	銀	季	季	季	季	三
									四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

簡素な9手詰2条件の短編です。棋譜表記で"金引"とするためにどうすればいいか、推理すれば後手の着手が自然にわかります。

・棋譜上『41金引』と指すには、42金の他に、31金か51金が居て"金寄"の余地があることが必要。これだけで9手詰手順の後手着手4手がほぼ決定する：

- 1) 後手の左金(41)は、42金～41金引と動く(2手)
- 2) 玉が52か62に動いて51を空け、右金(61)が51金と寄る(2手)

よって、後手の2手目の候補は△42金、△52玉、△62玉のいずれかに絞られる。

・最終形で後手は41と51に金が二枚並ぶ形であり、52玉型が詰ましやすい。先手の攻めは7手詰基本手順を応用して、52玉型を53銀で仕留める手順。後手は右金が51に寄った『52玉-41金-51金』型であるので、先手は52玉に触らず61の退路を塞ぎながら53角不成～71角成で銀を入手する。

・先手5手目以降：▲53角不成～▲71角成～▲53銀。▲53角不成に至る角の経路が2通り：初手から▲76歩～▲44角～、または▲96歩～▲97角。

よって、先手の3手目の候補は▲44角か▲97角に絞られる。

・"2手目と3手目が同じ筋"の条件から、初手より「▲76歩 △42金 ▲44角 △52玉 ▲53角不成 △51金 ▲71角成」の局面に進み、"金引"が可能となる。8手目以降「△41金引 ▲53銀」まで。

それではみなさんの短評をどうぞ。

渡辺(作者) 「後手の手、そして詰形がすぐに分かるのでこれは簡単だったでしょう。後手が41金引と指すにはそれまでに42金と31または51へ金、そして31または51の駒を退ける手が必要なので、それぞれ一手づつしかかけられない。とすると31は無理で後手の4手は42金、52(62)玉、51金、となると玉は52に居た方が詰形になりやすく71角成から53銀の想像は容易でしょう」

諏訪冬葉 「"41金引"の成立に4手必要なので、埋められない61の処理を考えました」

波多野賢太郎 「最初は、同じ筋は3筋かなと思いましたが。"4一金引"という条件が手順前後などを防いでうまいなあと思えました」

金少桂 「41金引が大ヒント。これで後手の手実質ほぼ全て明かされているのでとても解きやすかったです」

占魚亭 「41金引の局面を想定して逆算で解きました」

斧間徳子 「無駄手2手の限定法が巧み」

飯山修 「後手の4手が必然なので理論的にこの手順に到達。面白い」

■後手の△42金～△42金引は2手パスの無駄手ですが、"引"と棋譜表記するにはどうすればいいのか、それだけで先手後手の他の指し手も決まっていくところが巧みです。

DD++ 「41金引をどうやったら指せるかの方が、そこから詰みをどうするかよりも時間がかかりました。そりゃ玉がどかないとダメですよね」

隅の老人B 「金引と表示させるには、金を集めるのが必要。解き終えて条件を再読。成る程、成る程」

S.Kimura 「後手の金の動き方が難しかったです」

■"金引"表記には、「42と51に金が居る形」→「玉が動いて右金が寄る」の連想推理は難し

くないはずですが、漫然と駒を動かしているとなぜか気づきにくい手順かもしれません。

加賀孝志 「この詰上りは基本」

NNN 「シンプルな条件の程よい問題ですね」

はなさかしろう 「シンプルで解きやすい、一服の清涼剤。目に沁みる一局でした」

攻めダルマン 「シンプルでいい作品ですね」

■簡素条件の短編は、いつ出題しても、いつ解いてもいいものです。シンプル条件作のご投稿をお待ちしています。

小木敏弘 「余詰みを消し、手順を限定するヒント条件。3手目はやっぱり44角」

孔明 「とりあえず▽4二金～▽5一金の形を作ったら3手目▲4四角が確定して、以下の手順は簡単にわかりました」

山下誠 「2手目を4筋と考えたら、すぐに詰み形が浮かびました」

■角の経路が2通り。初手と3手目の着手筋を明かさないうで、後手の2手目をも限定する二番目の条件が巧いです。

変寝夢 「脳内盤で約1分。角の成生限定がうまく入っていますね。PCでは完全検討で38分3200万局面でした。3つめの条件で50数個の余詰を潰しているんですね」

■条件設定はあってますでしょうか?"41金引"条件だけなら、先手は角経路の選択(44か97)かの2通り、後手は手順前後(52玉～51金、42金)の3通りの組み合わせですので計6通り。したがって、3つめの条件で潰した余詰め筋は5通りです。

小山邦明 「『76歩、42金、44角、62銀、53角不成、41金引、62角不成、52玉、53銀まで9手詰』は42金を引いてはいるが表記にはならない。あぶなく間違いそうになりました」

■類似解も7手詰+1手+2手-1手の手順。
送信前には、棋譜表記を十分に確認ください
ね。

たくぼん「これも金のスイッチバックという
のかな？」

榊彰介「5四歩が突いてある形の7手詰めと
似た詰め上がり。金の上下運動で後手が余計に
指した一手を、先手に5筋の歩を取らせて取り
戻す手順が上手いです」

■7手詰手順では、▲53角不成の代わりに△
54歩が入りますね。42金～41金を仮に0手
とすると、"先手5手+後手2手=7手"で詰ん
だということ。

Pontamon「角の軌道と後手の手順前後をう
まく1つにまとめたの2条件。最終手53銀の
7手詰の筋は、成生の限定をしなくて良い反
面、表と裏の角道の限定が必要なことも。トド
メが53銀の11手1条件はあったけど9手1
条件は無理なのかなあ…」

■もともと7手詰の筋だけに限定は難しそう
ですね。ちなみに9手目53に銀を打って詰む手
順は13万通り以上(!)あり、9手詰全手順の
1/5に相当します。53の銀打で詰む9手詰
1条件、できましたら是非ご投稿ください。

正解：23名

飯山修さん S.Kimuraさん NNNさん 小
木敏弘さん 斧間徳子さん 加賀孝志さん 金
少桂さん 孔明さん 小山邦明さん 隅の老人
Bさん 諏訪冬葉さん 攻めダルマンさん 占
魚亭さん たくぼんさん DD++さん テイエ
ムガンバさん 波多野賢太郎さん はなさかし
ろうさん 変寝夢さん Pontamonさん 榊彰
介さん 山下誠さん 渡辺さん

96-2 中級 チャンプ 作

美野樗9兄妹の一局(その10) 15手

健一「九美があんなに強くなったとは驚きだ
な」

六実「八重ちゃんが一番相手になってあげた
んだよね～」

八重「勝って当然ですわ」

隆二「兄貴、今日はやけに静観だな、やらない
のかい？」

健一「ああ、なんか見てる方が面白くなって
きてな」

隆二「らしくないこともあるもんだな」

健一「お前こそ、まだ物足りない感じなんじ
ゃねえのか？」

隆二「そうかもな、じゃ次は七海と二人で行
かせてもらおうか」

七海「え・・・わたくしとですか？」

九美「おおー？二人ですのおー？」

隆二「引き立て役二人で敵を蹴散らしてやる
うぜ」

七海「予期せぬ事態に動揺を隠せませ
ん・・・」

源三「なんや、珍しいペアで行きよったな」

六実「隆ちゃん頼りになるから大丈夫よ～」

四郎「ああ見えて七海も相当強いからね」

隆二「こっちの先手だな、さあ行くぜ七海」

七海「は、はい・・・」

・・・対局開始・・・

四郎「あ、終わったみたいだよ」

隆二「角打ちまでの15手で仕上げてやった
ぜ」

隆二「俺と七海、二人で交互に指してやった
よ」

隆二「成る手は無かったが、同じ地点に6回
も着手があったな」

七海「・・・察するに10手目の△33玉が問
題かと」

圭五「二人ともすげえー！息の合ったパス回し
に感動したぜー」

源三「ほお・・・やりよるなあ・・・」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件) ※差替え+修正後

・角打ちまでの15手で詰んだ

・先手は2筋と7筋の手を交互に指した(初手
は2筋か7筋のいずれか)

- ・成る手は無かった
- ・10手目は△33玉
- ・同一の地点に6回着手があった

出題のことば (担当 NAO)

2筋と7筋。離れた二つの筋の有効手を推理しよう。

追加ヒント

8手目は同銀。15手目は6回目の22地点着手。

修正の経緯

1) 手違いにより検討過程のものを誤って出題したため差替え。

(差替え前)「先手後手ともに角打ちがあった」

→(差替え後)「同一の地点に6回着手があった」

2) 差替え版に余詰めあるため

→(修正後)「角打ちまでの(15手で詰んだ)」を追加

推理将棋 96-2 解答 担当 NAO

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角不成 △同 飛
 ▲7七角 △4二玉 ▲2二角不成 △同 銀
 ▲7二飛 △3三玉 ▲2二飛不成 △7二角
 ▲同飛不成 △2四角 ▲2二角
 まで15手。

詰上がり図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	馬	香		香		科	皇	
二			飛					角		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	王	歩	歩	
四							歩	馬		
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	

持駒 銀

(条件)

- ・角打ちまでの15手(15手目▲22角まで)
- ・先手は2筋と7筋の手を交互に指した

(▲76歩～▲22角不成～▲77角～▲22角不成～▲72飛～▲22飛不成～▲72同飛不成～▲22角)

・成る手は無かった(▲22角不成～▲22角不成～▲22飛不成～▲72同飛不成)

・10手目は△33玉

・同一の地点に6回着手があった

(3手目以降▲22角不成 △22同飛～▲22角不成 △22同銀～▲22飛不成～▲22角)

本作、美野櫻兄妹シリーズの第10問は隆二と七海の兄妹二人で戦います。シリーズ初の二人指しは、離れた筋を交互に指すので指し手が自然に限定されて手数が長い割には易しかったかと思えます。

同一地点6回着手をヒントに、2筋と7筋を交互に指す手順を推理しましょう。

1.同一地点6回着手は22地点に決め打ち。先手角が後手陣に届く22地点が都合がよく他は考えにくい。

2.先手は2筋と7筋の着手を繰り返すだけ。15手詰の先手着手は8回なので、初手2筋(▲26歩)なら最終15手目は7筋。初手7筋(▲76歩)なら15手目は2筋。22地点着手と噛み合うのは後者の角を使う手順である：初手から「▲76歩 △34歩 ▲22角不成」

3.以降、先手が2筋に指すのは7, 11, 15手目。先手は22地点に最大4回指すことができる。一方、後手が22に指す機会は、先手が22に着手した後の駒取り。後手は22地点に最大3回指すことができそうだが、15手目に先手の22角打ちの余地を残すため、後手は4か6手目と8手目の2回だけ22地点に着手する。よって、22地点への着手は先手4回と後手2回。

4.10手目33玉は角筋を制限(9手目の直後に22角と77角がない)しているので、7手目22→8手目22→9手目7筋→10手目33玉→11手目22・・・と手が繋がることから、飛入手～9手目72飛～11手目22飛不成を連想できる。

(3)(4)を手がかりに、4手目以降「△22同飛 ▲77角 △42玉 ▲22角不成 △22同銀 ▲72飛 △33玉 ▲22飛不成」

5.以下は収束。15手目22角打ちのため、先手は22飛を移動させながら再度角を入手する。後手は、持駒角2枚のうち1枚を72地点で先

手に渡し、もう1枚を24地点への退路を塞ぐため、連続して角を打つ。

12手目以降「△72角 ▲72同飛不成 △24角 ▲22角」まで。

前半の22地点での大駒の受け渡しと後半の飛の往復運動が印象に残る軽い捌きの中編作品でした。

本作、出題当初、検討過程のものを誤って出題したため差替えたところ、差替え版に余詰が生じる失態の連続で、お恥ずかしい限りです。

差替え前と差替え後(修正前)の余詰め手順は下記の通りです。

◇差替え前条件(余詰)

- ・15手で詰んだ
- ・先手は2筋と7筋の手を交互に指した(初手は2筋か7筋のいずれか)
- ・成る手は無かった
- ・先手後手ともに角打ちがあった
- ・10手目は△33玉

(差替え前の余詰1、ご指摘はNNNさん)

▲78飛 △34歩 ▲26歩(28銀) △77角不成
▲同飛 △42玉
▲28銀(26歩) △14歩 ▲78銀(78金) △33玉 ▲24角 △同玉
▲75飛 △13角 ▲25飛まで

(差替え前の余詰2、ご指摘はPontamonさん)

▲76歩 △34歩 ▲22角不成 △同銀 ▲75歩 △42玉
▲26歩 △44歩 ▲76角 △33玉 ▲21角不成 △24角
▲74歩 △42金 ▲25桂まで

(差替え前の余詰3、作者の検討)

▲26歩 △34歩 ▲76歩 △42玉 ▲22角不成 △同銀
▲75歩 △14角(16,36) ▲25歩 △33玉
▲76角 △25角
▲同飛 △44玉 ▲77角まで

◇差替え後条件(余詰)

- ・15手で詰んだ
- ・先手は2筋と7筋の手を交互に指した(初手は2筋か7筋のいずれか)
- ・成る手は無かった

・10手目は△33玉

・同一の地点に6回着手があった

(差替え後の余詰、ご指摘は、NNNさん、飯山さん、渡辺さん、ティエムガンバさん)

▲76歩 △34歩 ▲22角不成△同飛▲77角△42玉

▲22角不成△同銀▲72飛 △33玉 ▲22飛不成△24角

▲72飛不成△44角▲22銀まで。12手目と14手目は手順前後可。

それではみなさんの短評をどうぞ。

チャンプ(作者) ※コメント欄より引用

「今回の問題については担当切り替えの直前で余詰め筋に気がついて修正したので、NAOさんに上手く伝わってなかったようです。ちゃんと1から問題文を送り直すべきでした。お手数をお掛けして申し訳ありません。とはいえ果たして修正前の条件下で余詰め筋に気が付く方がいるかどうか、実はそちらの方にも興味があったりするので、結果オーライかもしれません(笑)

また、遅くなりましたが渡辺さんより「美野樫」という苗字に何か意味があるのか?という質問に回答をさせていただきます。といっても特に意味なんて無いんですが、作品化するにあたって9兄妹の下の名前だけでは何となく味気無いなと思い、ちょうど観ていたプロ野球で見逃し三振の場面があって、ゴロが面白いから「美野樫」にするか!みたいなノリで付けました。それとこの作品の大会は冷静に考えるとおかしい点はいくつかあります。一例として美野樫メンバーは複数人数で一つの将棋を指しています。大会なのにそれってどういうこと?そういった疑問に対してや、もし余詰めがあった場合は見逃して頂きたいなという思いも含まれています(笑) 幸いなことに後者につきましては、

DD++さんとNAOさんの検討力のおかげで今まで奇跡的に余詰めが無い状態が続いているのは有り難いことです。最後までこのまま行けるか?作者的には1つの目標でもあります。今後とも9兄妹をよろしくお祈りします」

■"今まで奇跡的に余詰めが無い状態が続いて"いましたが、差替え後条件も余詰があり再修正となりました。粗検申し訳ありません。余詰め

を"見逃し"てもらふ訳にはいけません、今後の美野櫛9兄妹の活躍をご期待願います。

DD++ 「え、双方角打ちだと余詰むんですかこれ。△77角▲同金から▲27角か▲72角と打って▲78金までで44玉を詰ませる、みたいな順は引き継ぎ前にけっこう検討したつもりだったんですが、アウトだったんでしょうか。何にせよ、完全作にしてからの引き継ぎとはできなかったようで、すみません」

■作者チャンプさんと前任のDD++さんのご両名で検討されたので、安全と思いこんでしまい、大変失礼しました。差替え前の"双方角打ち"だと、後手の角打ちに少なくとも3通り：13角打(~25飛)、24角打(~25桂)、14角打(~77角)の筋がありました。

NNN(双方解) 「同じ場所に6回着手だとかなりの絞られますね。そういう意味では、修正前のパターンの方が中級らしく感じました」

■NNNさんには、差替え前後と修正後の3解いただきました。余詰めのご指摘いただき感謝いたします。差替え前の条件が本格推理らしかったんですけど、修正で解きやすくなりましたね。謎解きの味を残して「先手後手ともに"2回ずつ"角打ちがあった」の修正がよかったか(余詰め有無は未検討ですけど)

渡辺(双方解) 「(差替え後について)最初は7筋で止めと思っていましたが、そちらの方はきちんと防いでいるのは流石です」

■差替え前は7筋で止めの余詰筋がありました。同一地点6回着手だけではわずかに縛りが足りません。

Pontamon(双方解) 「出題の言葉で閃いた詰み形だと、クリアできない条件があるか手数が足りずに駄目。条件が修正されていたので解けましたが、角打ち2回での余詰みは今のところわからず」

■後日、差替え前および修正前の余詰解もいただき、3つの解答をいただきました。ありがとうございます。

はなさかしろう(双方解) 「第一感は44玉を詰ます筋でしたが足らず、裏推理を援用しました。序3手は素直ですが、その後も大駒を打っては22に飛び込ませる面白い展開でした。修正条件は最初の出題条件にあった▲25飛までの余詰順も防いでおり、解答者の立場からはなかなか興味深かったのですが…楽しんでいただくと倍返しですね(汗)」

■はなさかさんにも差替え前、修正前の余詰解を合わせ3解をいただきました。こちらも2問連続の再々修正で参りました(汗汗×2)

飯山修(双方解) 「24、44を角で塞ぐ順を作意にしたほうがカッコいいと思いましたが」

斧間徳子(余詰解) 「72角~24角の角の連打が妙手順」

■角2枚で退路封鎖し22銀で詰む差替え後修正前の余詰順。確かにこちらの手順も面白い。

小木敏弘 「2筋の歩を使わないのがにくい。中段飛車に寄り道しました」

■77飛~75飛や26歩~25飛は元の余詰筋で現れました。修正後はその順が届かないので寄り道ですね。

諏訪冬葉 「11手まではすぐ浮かんだのに最後の4手が見えず苦戦。そうか、飛車も銀もないから22角が成立するのか」

■22には後手駒の利きが残っている感触があります。

波多野賢太郎 「"同一地点へ6回の着手"という条件が大きいので、比較的易しかったです。この場合、同一地点は2二しか考えられませんよね。"角打ち仕上げ"修正前は、2四と4四に角を打って2二銀仕上げの15手を答えにしようと思っていて、2二角仕上げの15手は修正があって初めて気づきました」

変寝夢 「プラス条件、初手は7筋、6回着手の場所は22を追加して1045万局面13分でした。なぜ同一地点6回着手が最初伏せられて

いたのか全然分かりません。7 2 飛～同飛までの5手が面白い」

■同一地点6回着手を明かしてしまふと味消しですね。最初伏せられていたのは、より推理を楽しんでもらうため。それが仇となって6回未満着手の余詰めが出てしまったんです。

小山邦明 「先手の2筋の手を26歩とすると相手陣に辿り着くのに手が足りないように思い角打ちの繰り返し手順を考えたらうまくいきました」

金少桂 「繰り返し趣向の風味のある手順が楽しかったです」

孔明 「詰みに邪魔な銀を取る手が盲点になっていましたが、飛車を行き来していたら解けました」

山下誠 「7二飛からの飛車の往復運動が気付きにくい妙手順でした」

たくぼん 「22飛生からの順が見え難い順。ブルーゲームのような感覚」

占魚亭 「飛車のスイッチバックに思い至るまで少々時間が。この詰み形は盲点でした」

■9手目に72飛を打ち、22地点との間を一往復半する手順。最初の飛打と後手の72角打が発見しづらい手でした。

攻めダルマン 「15手は解く気があまりしなかったのですが面白い条件につられました。手順も最高ですね」

隅の老人B 「大駒の華々しい攻防戦。先手の手が限られていて、楽しく解ける」

S.Kimura 「飛車の打ち場所に悩みました」

加賀孝志 「上手い限定打、攻防が楽しめる」

■先手の77角～72飛～22角とそれに呼応した後手の72角～24角。5回の大駒打ちと飛の往復による攻防が楽しめました。

正解：22名

(双方解：飯山修さん、NNNさん、はなさかしろうさん、Pontamonさん、渡辺さん)

飯山修さん S.Kimuraさん NNNさん 小木敏弘さん 斧間徳子さん 加賀孝志さん 金少桂さん 孔明さん 小山邦明さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 攻めダルマンさん 占魚亭さん たくぼんさん DD++さん テイエムガンバさん 波多野賢太郎さん はなさかしろうさん 変寝夢さん Pontamonさん 山下誠さん 渡辺さん

96-3 上級 はなさかしろう作 一番街の駒取り祭 15手

「どうだった？ 最近町が静かすぎるから、リアル将棋祭を企画したんだけど」

「うん、面白かったよ。15手で詰んだみたいだけど、その間に直前の手で成った駒が2回と生駒が3回も取られたからね。しかも駒取りはすべて、目の前の1筋で起きたからラッキーだった。駒を取らない1筋の手はたったの1手だけだったよ」

「そりゃなんたって駒取りが華だから、特別観覧席のある一番街でやる決まりなのさ」

「なるほどそういうことか。実は、なにしろ盤が大きいから、局面がどうなっているのかまではよくわからなかったんだ。先手が歩の手を1回だけ指したのと、その手に対して後手が三段目の手で応じたのが、ちょっと変わってるなあとは思ったんだけど」「やっぱり見づらいかあ。大型スクリーンとかドローンとか、工夫がいるかなあ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・15手で詰んだ
- ・駒取りは1筋のみで、直前の手で成った駒が2回、生駒※が3回取られた
- ・駒を取らない1筋の手が1手だけあった
- ・先手唯一の歩の手に対して後手は三段目の手で応じた

※生駒というのは成駒ではない駒のことです。

出題のことば (担当 NAO)

1筋の駒取りが5回。効率のよい取り方を推理しよう。

追加ヒント

駒成りは6手目△17角成と13手目▲11香成。両王手で詰み。

修正の経緯

- (修正1) 条件「駒を取らない1筋の手が1手だけあった」を追加
- (修正2) "成駒"→"直前の手で成った駒"に変更

推理将棋 9 6 - 3 解答 担当 NAO

▲9八香 △3四歩 ▲9九角 △4四角
 ▲8八飛 △1七角成 ▲同 香 △4二玉
 ▲7六歩 △3三玉 ▲1三香不成△2二玉
 ▲1一香成 △同 玉 ▲1八飛
 まで15手。

詰上がり図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	王	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	王	
二		飛								
三		歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		
四							歩			
五										
六			歩							
七		歩	歩		歩	歩	歩	歩		
八		香							飛	
九		角	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	

持駒 角香歩

(条件)

- ・駒取りは1筋のみで、直前の手で成った駒が2回(△17角成 ▲同香、▲11香成 △同玉)、生駒が3回(△17角成、▲13香不成、▲11香成)取られた
- ・駒を取らない1筋の手が1手だけあった(15手目▲18飛)
- ・先手唯一の歩の手に対して後手は三段目の手で応じた(9手目から▲76歩 △33玉)

駒取りを1筋のみで行う一番街の駒取り祭。1筋条件に隠された詰みは11玉を自陣からの両王手で仕留めるといふ壮大な構想の作品

です。難解さも今年が一番で間違いのないでしょう。

◆与えられた条件から詰形を想定するのは困難ですので、"1筋の駒取り"と"先手唯一の歩の手"を手掛かりに解図していきます。1筋を破るのに早い駒は、やはり角。使うのは先手、後手どちらの角でしょうか？推理していきましょう。

・後手角で1筋を破る手順が正解
 △34歩～△44角～△17角成と進めれば6手目に17に届く。以下、▲17同香～▲13香と進める。ところが、"唯一の先手の歩の手に対して後手3段目の手で応じる"ことが必要であるので、6手目△17角成に至るまで、初手～5手目に先手は自陣内に3手も着手することになる。自陣内で攻めに有効な手段はあるのか？これが本作品の最大の謎であり解図の鍵になる。

・11玉への両王手を目指す
 1筋の駒取りは、△17角成 ▲17同香～▲13香不成～▲11香成 △同Xと進めれば"直前に成った駒"2回と"生駒"3回を満たす。後手は△34歩～△44角～△17角成の後、残り4手を玉移動に使えば▲11香成を"△同玉"と取ることができ、両王手の筋に入る。先手は自陣内で▲98香～▲99角～▲88飛と両王手の準備を行う。初手から「▲98香 △34歩 ▲99角 △44角 ▲88飛 △17角成」先手の歩の手に対しては後手は三段目の玉の手で応じる。7手目から「▲同香 △42玉 ▲76歩 △33玉」
 以下、「▲13香不成 △22玉 ▲11香成 △同玉 ▲18飛」まで両王手の詰み。

・先手角で1筋を破る手順は？
 ▲78銀～▲79角～▲56歩～▲13角成と進めれば7手目に13に届く。以下、△13同香～△17香成～▲同Xと進めることができる。有力なのは1筋に飛を寄って、玉が1筋に近づく手順「▲78銀 △34歩 ▲79角 △42玉 ▲56歩 △33玉 ▲13角成 △同香 ▲18飛 △17香成 ▲同飛」
 ここまで、駒を取らない1筋の手が1手(▲18飛)あり、先手唯一の歩の手▲56歩に対して後手は三段目の手△33玉と応じている。ところが、1筋の駒取りは直前に成った駒を取る手2回、生駒を取る手が2回だけで1筋の後手駒が残っておらず失敗。

また「▲78銀 △34歩 ▲79角 △42玉 ▲56歩 △33角 ▲13角成 △同香 ▲XXXX △18角 ▲同飛 △17香成 ▲同飛 △32玉」も一手届かない。

本作、11の玉を自陣からの両王手で仕留める壮大な構想の難解中編で、作者会心の一局のはずでしたが、出題時に余詰めがあり2回の修正が入りました。

(修正前の余詰、ご指摘はDD++さん)

▲78銀 △14歩 ▲56歩 △13角 ▲79角 △42玉
▲13角成 △32玉 ▲14馬 △同香 ▲18飛 △17香成
▲同飛 △22玉 ▲12飛不成 まで。
"駒を取らない1筋の手"が4回(△14歩、△13角、▲18飛、▲12飛)

(修正1後の余詰1、ご指摘はDD++さん)

▲38飛 △34歩 ▲28飛 △44角 ▲18飛 △17角成
▲同飛 △42玉 ▲13飛成 △32玉 ▲76歩 △13香
▲同香成 △42銀 ▲22角成 まで。
(修正1後の余詰2、ご指摘は孔明さん)
▲18飛 △34歩 ▲XXXX △44角 ▲XXXX △17角成
▲同飛 △42玉 ▲13飛成 △32玉 ▲76歩 △13桂
▲11角成 △42飛 ▲21角 まで。
"直前に成った駒"を3手後で取る手順(▲13飛成～△13香/桂)

それではみなさんの短評をどうぞ。

はなさかしろう(作者)「改めまして、余詰と修正ミスをお詫びします。たいへんおこがましいのですが、実は本作は高坂研さんの通称『0番』へのオマージュです。そこで、いただいたご指摘を活かすべく、遅まきながら検討をやり直しました。

制作時の検討では、後手の1三への着手で三段目条件を満たす順がなぜかすっぱり抜けていたようです。従って、応急措置では元出題の「三段目の手」を「3三への手」に修正すべきでした。しかし、そもそもの原因は、制作時の余詰対策の際に「玉」隠し

にこだわり、1筋条件を強化する方向を選んでしまったことにあります。修正案は以下の通りです。

- ・15手で詰んだ
- ・1筋で成駒2枚と生駒3枚が取られた
- ・7六歩に対して3三玉で応じた

論理上のミニマムよりも記述を簡素にすることを優先し、紛れも少ない方を選びました。解図の糸口が増えたので、裏推理を使えば難易度も中級まで下がっているかもしれません。

みなさまにはもとより、素材に対しても申し訳ないことでしたが、取り組んでいただき、ご指摘も寄せていただきましてありがとうございます

■作者の思い入れがある作品だけに、完全作で発表したかった。力至らず申し訳ありませんでした。『7六歩に対して3三玉で応じた』この条件だけで縛れば素晴らしい。78銀～79角の筋はぎりぎり詰まないですね。

斧間徳子「出だしは78銀、34歩、56歩、33角、79角、12飛と決め打ちしたため時間を浪費。この手順以外に、先手が歩を突くまでに有効かつ手順前後の効かない順はないかと考えたらアッサリ解けました。スケールの大きな作品だけに余詰・修正が残念」

DD++「なるほど、最大規模の両王手でしたか。解けてから見れば『盤が大きいから』とか、狙いを匂わせるヒントがちらほら…」

加賀孝志「この両王手は秀逸旨い」

たくぼん「先手の歩の手が1手というのが大きなヒント。実に壮大な構想でした」

■最大規模の両王手。なかなか思い浮かばない詰み形の構想手順です。

渡辺「雪隠両王手詰最短手順でしょうか。これは超難問。この条件付け(最初はさらに少なかった)で余詰なしと読み切る論理が浮び

ません。考えあぐねている途中でたまたま発見したものの、条件を元にどうやって手順を絞らんだらいいのか見当も付きません。『歩を突かず、手順前後の発生しない、後に1筋に効く事前工作』と考えれば先手の最初の3手は浮びますが、こういう考えは検討には使えません」

■中編の構想作、かつ、意図的に狙いを隠す条件付けとなると、作意を見つけることも余詰めを見つけることも難しいですね。ロジカルな検討手法があればいいんですけど。

孔明 「ヒントの1一香成と両王手のおかげで詰み形がわかりようやく解けました。ただ6手目▽1七角成のヒントは混乱を招きました(笑)

ヒント前には▲7八銀～▲7九角も考えていたんですが▲9八香～▲9九角は盲点でした」

飯山修 「1回しか歩が使えないのは物凄いストレス。3回手待ちの代表手順が作意でしたか。79角の順から抜け出せませんでした。が直前ヒントが甘めで助かりました」

■"両王手"を明示しないと難しく、正解者数も減ったことでしょうか。別案ヒントで"5手目88飛"もあったかもしれません。

Pontamon 「ヒント待ちを決め込んでいたのに、ヒントが出てもヒントの条件をクリアしている後手の三段目着手がない両王手の手順『▲98香、△34歩、▲99角、△44角、▲88飛、△17角成、▲同香、△42玉、▲13香不成、△32玉、▲76歩、△22玉、▲11香成、△同玉、▲18飛』から伸展せず。総評とギブアップの短評を書いていて、△33玉によりやく気付きました。(お恥ずかしい)

▲76歩と▲13香不成の手順前後がある詰み手順なのは気付いていたのに、解図途中で紛れ筋を読んだときに『6手目△33玉はない』と結論していたのが尾を引いて、△33玉はないと思い込んでました。別の両王手で詰む紛れ手順もあり、ヒントの出し方も素晴らしい作品でした。(解答のあつまり具合によっては『駒成りは6手目の17地点と

13手目の11地点。両王手で詰み』も候補にあったのかな?)」

■修正1前後の余詰解もいただき、3つの解答をいただきました。追加ヒントは2手を明かすことは決めていましたが、"両王手"をヒントに加えるかどうかは迷いました。

NNN 「ヒント無しでは全く分かりませんでした。角を引いて敢えて空き王手の筋を作るとは…。2問目の余詰みも王手ではなくとも角道を飛車で塞ぐ点で同じような筋だったのですが…」

諏訪冬葉 「最終手段『ヒント待ち』で詰み型を予想できたものの序の3手が浮かばず苦戦しました。」

波多野賢太郎 「今回はこの問題ばかりずっと考えて悩んでいました。結局ノーヒントでは解けず、ヒントを見てようやく解決しました。私にとってはこの手順は驚愕の結末という感じでした。歩は序盤に突かないと仕方ないとばかり思っていましたし、そうなる角か桂馬をなるべく早く進撃させるしかないと思っていました」

隅の老人B 「初手に10日間の苦勞。5手目までが難しい」

■初手から▲98香～▲99角～▲88飛は、1筋条件に引き寄せられるとなかなか指しがたい手順です。

小木敏弘 「この開き王手にず～～と、気が付きませんでした。78銀、79角、56歩か、18飛、36歩のどちらかなのにと悩みまくりました。まさか、先手の歩がこんなに遅く出来るとは……。終わりの形が見えたら瞬殺でしたが、見えなかった」

S.Kimura 「引き角であることは予想していましたが、79ではなく、99に引くとは思いませんでした」

攻めダルマン 「考えてるうちに不可能かと思いましたが穴角戦法とは」

■まず、79の引角に手が動くのが普通感覚ですね。将棋倶楽部24で穴角戦法を観戦したことがあります。高段の方が、88飛-99角を上手く捌いて圧勝していました。

山下誠(無解)「6手目1七角成のヒントで、先手の1・3・5手目がますます分らなくなり、白旗です」

小山邦明(無解)「『先手唯一の歩の手に対して後手は三段目の手で応じた』の着手が全く推理できませんでした」

占魚亭(無解)「駒取りが上手くいきません。降参です」

■今回追加ヒントは、"やや甘め"としました。それでも超難解作でありますので白旗も気にしないで結構です。

正解：16名 (双方解：DD++さん、孔明さん、Pontamonさん)

飯山修さん S.Kimuraさん NNNさん
小木敏弘さん 斧間徳子さん 加賀孝志さん
孔明さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん
攻めダルマンさん たくぼんさん DD++さん
波多野賢太郎さん はなさかしろうさん
Pontamonさん 渡辺さん

総評

はなさかしろう「高坂研さんの『0番』は私が推理将棋に熱中するきっかけになった2つの手順のうちのひとつです。もうひとつの『6手合い利かず』に対しては46・3『馬術競技』を作っていたので、今回『一番街の駒取り祭』を採用していただけてとても嬉しく、これで作者としての煩惱が解消されるはずだったのですが、やんぬるかな」

■『0番』とは、次の条件(原案とは表現を変更、作意略)です。

(条件)・10手で詰んだ、・不成4回、・終図で後手持駒が角歩

予備知識のある今なら、すぐわかりますが、当時は驚きの手順だったことでしょう。

Pontamon「2015年を締め括るのに相応しい、中級・上級の難問2題でした。はなさかしろうさんの上級はギブアップ寸前でした。

2014年の第74回で推理将棋に出会い、初挑戦の推理将棋ということもあってか解けなかった問題があった記憶。どんな作品だったか見てみると、解けなかった74・3の作者は奇しくもはなさかさん。はなさかさんに2年連続で全問正解を阻まれたかと思いましたが、今年はどうにか全問正解でした。来年は全問正解+ノーヒントを目指します。それでは、皆さん良いお年を」

■2016年も作品投稿と解答をよろしく。解答ではノーヒント全問正解を期待しております。

占魚亭「締切日に手つかずだったことに気が付き、急いで解きましたが全問制覇ならず。すみません」

■惜しい。メ切日は棋力倍増しますが、難問出題のときは早めに解図をした方がよさそうです。

小木敏弘「今回は大変苦しみました」

■余詰がなければ難解作で締まったんですけど・・・

斧間徳子「15手くらいの中編になると、余詰のリスクが格段に増えますね」

DD++「NAOさんにとっては胃の痛む回だったこととお察しします。お疲れ様でした」

たくぼん「今回は難易度が高くかなり焦りながらの解図でした。解けて良かった。余詰は出るものです。お気になさりません様に」

■お心遣いありがとうございます。15手以上の中編で一见緩い条件になると、検討が難しいです。解いてみて作意が先に見えるものは、特に余詰探しが困難になります。

渡辺 「今回は最後が難問。だめ元の手が詰むと急に脱力しますね。推理将棋を始めたころ以来の久し振りの体験でした。96-3のような問題は訂正できない詰パラだと検討に自信がなくとても出題できません。訂正可能なウェブ媒体ならではの出題だと思います」

■訂正前提で出題するつもりは毛頭ありませんが、結果的にウェブ媒体の柔軟性に甘えて、助かってます。割り切って、今後も思い切った選題をやっていきたいと考えます。

変寝夢 「もう早いもんで年末ですか。来年もよろしく願います」

波多野賢太郎 「今回は何と言っても3番が強く印象に残りました。悩みに悩んだおかげで、解決したときはちょっと衝撃でした。できればノーヒントで解きたかったです…。1年の最後にふさわしい作品だったと思います。ありがとうございました。2016年もよろしく願います」

隅の老人B 「3番で苦勞、ヒントを読んでも、初手が判らない。16日の早朝、98香に気づく。これで、気分良く、新しい年が迎えられる、そんな思いあり。『単純な爺さん、ここに在り』です。来年も宜しく願います。良いお年をお迎えください」

■2016年も推理将棋をよろしく願います。

推理将棋第96回出題全解答者： 23名

飯山修さん S.Kimuraさん NNNさん
小木敏弘さん 斧間徳子さん 加賀孝志さん
金少桂さん 孔明さん 小山邦明さん
隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 攻めダルマンさん 占魚亭さん たくぼんさん
DD++さん テイエムガンバさん 波多野賢太郎さん はなさかしろうさん 変寝夢さん Pontamonさん 榊彰介さん 山下誠さん 渡辺さん

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。

今回は透明駒について書こうと思います。透明駒に触れるきっかけ、そして世にあふれる素晴らしい作品たちの理解の一助になれば幸いです。

厳密なルール確認はあとにしても構いません。まずは気軽に見ていきましょう。

■受方の透明駒

1.) 導入

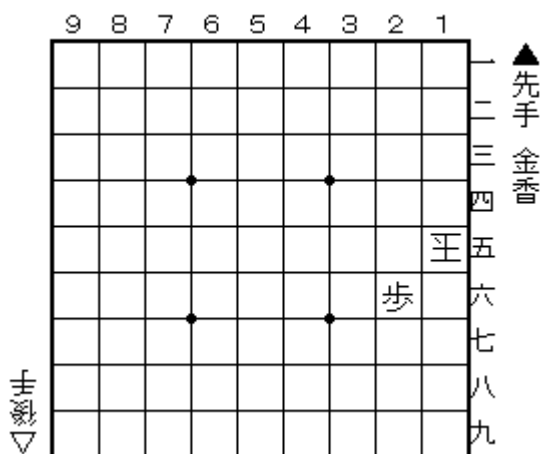
A「透明駒というものがあるみたいだね、少し教えてくれよ。」

B「わかったよ。ちなみにルールはどのくらい分かる？」

A「さっぱりわからん」

B「……。とりあえずこれ考えてみてよ」

(例1) ばか詰 3手 (0+1)



A「この(0+1)ってのは何？」

B「ああ、これは前の数字が攻方の透明駒、後ろが受方の透明駒の数って意味だよ。今回でいうと、受方に一枚だけ透明駒があつて、それ以外は普通のばか詰と変わらないってこと」

A「ふーん。でもこれ、17香、16合、25金で詰んでない？」

B「透明駒がなかったらね。最終手の25金を透明駒で取って受ける手が可能性として残ってるから、その手順だったら詰んでいないとみなされるよ」

A「??? どういうこと? だって透明駒とやら

が25地点に利いているとは限らないじゃないか」

B「確かにそうだけど、透明駒が判明していないとき、自分も、相手も不可能でないことは何をやってもいいんだよ。この場合は、受方のほうが自分に有利になるように透明駒を利用したと言える。」

A「まあ、そういうもんなんだね」

B「慣れると楽しいよ」

A「といつても16地点を埋めないことには……。あつ! じゃあ『16香、同透明駒、25金』はどう？」

B「同透明駒って格好悪いな。そういうのは+16って表記するんだよ。+(駒を取った地点)という表記で、透明駒が駒を取った挙動を指すことになる。それと、もし16の透明駒が銀とかだったらどうするんだ」

A「桂とか金とかかかもしれないじゃん」

B「だから25に利いている可能性が一通りでも残っていれば詰んでないだつて」

B「……。じゃあもしその16の透明駒がピンされていたら？」

A「あー。なるほど、17香、透明駒、25金ってこと？」

B「記譜上の表記は-Xね。だから正解は『17香、-X、25金まで3手詰』ってなるよ」

A「これ透明駒の駒種が限定されてないけどいいの？」

B「判明させることが目的じゃないから大丈夫。16の駒が銀だろうがなんだろうが、すべての可能性で詰んでいるから、正真正銘詰みだと断言していいんだよ」

A「そこが初手16香との違いってわけね」

A「2つぐらい疑問があるんだけど」

B「どうぞ」

A「17香に対しての-Xってつまり17香に対する考えられる応手すべてが候補としてあるってことでしょ。それなら16合以外にも透明駒で17の香を取った可能性もあるんじゃないの？」

B「透明駒の挙動についてね。確かにそうなんだけど、その両者だと視覚的に同一じゃないから、区別されるね。合駒なら-X。香を取ったなら+17。ほら、棋譜表記も違うだろ」

A「? 視覚的に同一??? どういうこと？」

B「透明駒の挙動が全く目に見えないとして、透明駒で合駒したときと、根元の香を取ったとき。それぞれ盤面は俺たちにどう見えている？」

A「……前者だと香が残るけど、後者だと香が消える」

B「でしょ。後手が透明駒の着手をしてもなお盤面に香が残っているってことは、香は取られていない。だから両者は区別できて、この場合の-X表記は合駒でしかありえない」

A「あとばか詰って非限定ダメなんですよ。初手以遠打ってというのはいただけないね」

B「じゃあ初手 18 香だとどうなる？」

A「どうなるって…さっきと同様、『18 香、-X、25 金』でダメなの？」

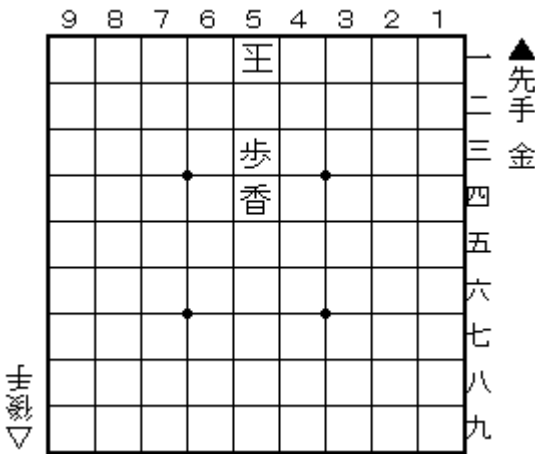
B「16 玉で逃れだな」

A「あれ？ああ、透明駒を合駒した地点が 17 だったかもしれないって？確かにどこに透明駒が合駒されたかなんて目で追えないから、16 が埋まったと断言できないわけね。」

2) 受方透明駒の無効化

B「じゃあこんなのはどう？」

(例 2) ばか詰 3 手 (0+1)



A「52 歩成だと+52 って取り返されるってこと？」

B「そう。受方に透明駒がある場合は、多くの場合それによる受けをなんとかしないといけない。これはかなり一般的に言える方針だと思うよ。」

A「じゃあ単純に、『52 金、+52、同歩成まで 3 手詰』でどう？これでもう透明駒は盤に無いよね？」

B「はい正解。取ってしまえば透明駒も怖くない。ずいぶんと直接的な解決法だけでも」

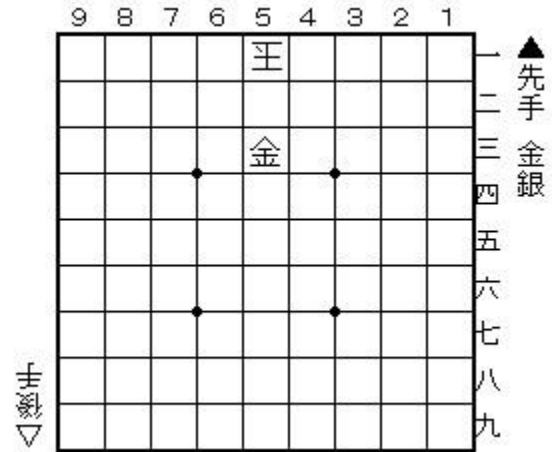
A「これ駒余りじゃないの？」

B「現行、透明駒余りは駒余りとみなさないことになってるから大丈夫。見た目的には駒台に何も残っていないからかな？」

B「じゃあ、今度は透明駒を取る以外で解決法を考えてみよう」

A「ちょっと待って。試しに僕もつくってみたんだけど、これどう？」

(例 3) ばか詰 3 手 (0+1)

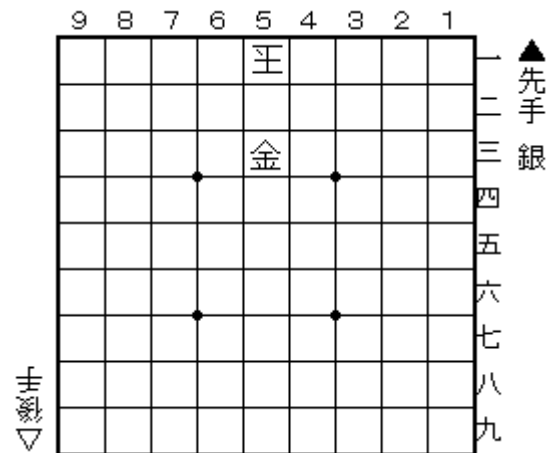


A「もちろん初手 52 金はダメだよ」

B「わかってるよ。……なるほど、『61 金、+61、42 銀まで 3 手詰』か。透明駒の位置を判明させて、そこから利きの届かないところに打つ。これも一応無力化って呼べるのかな？」

A「それで、こうしたら紛れが増えるんじゃないかなって」

ばか詰？ 3 手 (1+1)



A「初手の金を隠した！そんで作意は『-X(61 金)、

+61、42 銀』！」

B「あー、表記上、透明駒で透明駒を取る挙動は表現できないんだよ」

A「何で？……見えないから？」

B「そう。さっきの香が視覚的に消える場合とはわけが違う。そんでもって今回の正確な表記は『-X、-X、42 銀』となる。でもこの手順だと透明駒についての情報がほぼ何も分からず、詰んでないね」

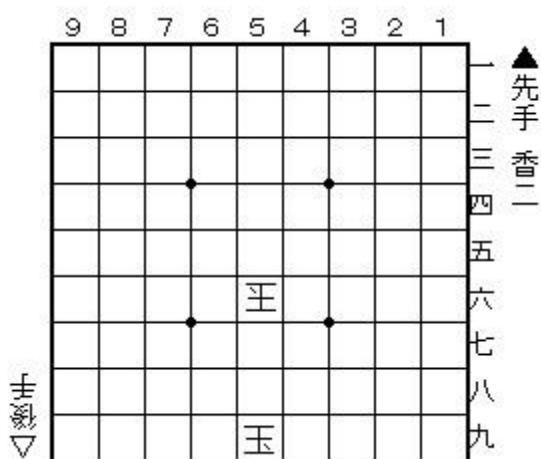
A「作意不成立ってことね。ハイハイわかりましたよ」

3) 透明駒が判明する

A「これまで透明駒が判明しないまま終わるものばかりだったけど、判明するような例はないの？」

B「もちろんたくさんあるよ」

(例 4) ばか自殺スタイルメイト 4手(0+1)



A「スタイルメイトって何？」

B「詰んでないけど指す手が無い局面にしろってことだよ。今回は自玉のほうだから、持駒も消費しきった上で玉を行動不能にしてね。」

A「香連打するしか…。」

B「答えを先に言ってしまうと、『58 香、+58、57 香、同玉』まで 4 手だね。」

A「手順前後はダメなの？」

B「それだと最後の+58 が『同飛生』である可能性がまだあるから、49 玉って逃げる手が残ってスタイルメイトを達成できていない」

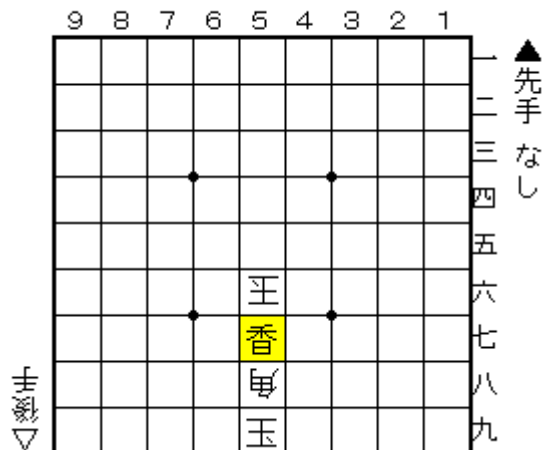
A「57 香の前に+58 を決めるとどう違ってくるんだろう？」

B「再確認しよう。『透明駒では合法なら何やってもいい』とはもうすでに言ったね？」

B「裏を返せば、『指せた時点でその手は合法』ってことだ。+58 がもし王手だったら、57 香とやっている場合ではない。逆に言えば 57 香とできる余裕があったということは、+58 が王手ではなかったことの証拠になる。前に利きがないまま 8 段目に存在できる駒は…、」

A「角しかない。なるほど、透明駒がこれで一意に限定されるわけだ。」

▲57香の瞬間、58角が判明する



B「それしかありえないとわかったとき、透明駒はその透明性を喪失する。それからは、普通の駒と同じように使って問題ないよ」

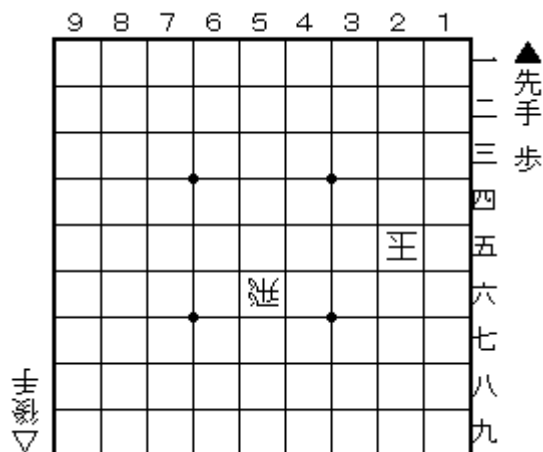
■攻方の透明駒

B「今度は攻方が透明駒を持っている場合を考えていこう」

A「普通に戦力になりそうだ」

B「正体が判明しないまま戦力として使うのは何かと不便だから、多くの作例で、駒種を確定させていく方針が 傾向があるように思うね」

(例 5) ばか詰 5手(1+0)



A「普通のばか詰よろしく、合駒を稼ぐのが一番強そうなんだよなあ」

B「まあ確かに。仮に作意順とは関係無くとも、真っ先に考えられる余詰筋であるし」

A「『指せた手は合法』の法則に従うと、仮に初手 -X としたならばそれは王手になっているってことでいいんだよね？じゃあ以下 26 金合！、+26、15 玉、25 金でどうだ！透明駒は飛だったのだ！」

B「それだと初手が香だった場合が否定出来ないっしょ」

A「うーん、飛車配置が怪しいんだよなあ。でも初手から+56 としても王手じゃないし。じゃあ 26 歩と引きつける？それって透明駒判明する余裕があるんだろうか？」

B「『26 歩、同飛、+26』ね。」

A「でもこれが作意だとすると、冴えない逆算だよ。叩くにしても歩だと露骨すぎるし、持駒はなんか香とか銀とかに替えられないの？」

B「うるさいなあ。きちんと意味があつての出題図なんだよ」

A「ふーん…。あ、なるほど、初手歩を叩けて、しかも二歩禁もありえないってことは 3 手目が『同歩』ではないってことになるのか。」

B「んでもって初形から王手がかかっているのはありえないから、3 手目『同香』も無いだろう？」

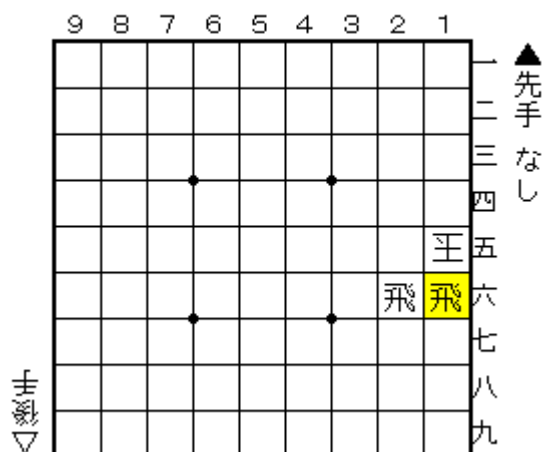
A「3 手目が王手だとすると、角も桂もありえないか。でもこれ以上はわからないよ」

B「そこで 4 手目、どこに逃げるかだよ」

A「一番有力そうなのは 15 だけど…？あつ、これで 25 の駒が斜めに利いている可能性がなくなるのねじゃあ残る可能性は…飛車だけ。透明駒の除外診断だ」

解：26 歩、同飛、+26、15 玉、16 飛 まで 5 手詰

詰め上がり図 16 飛まで

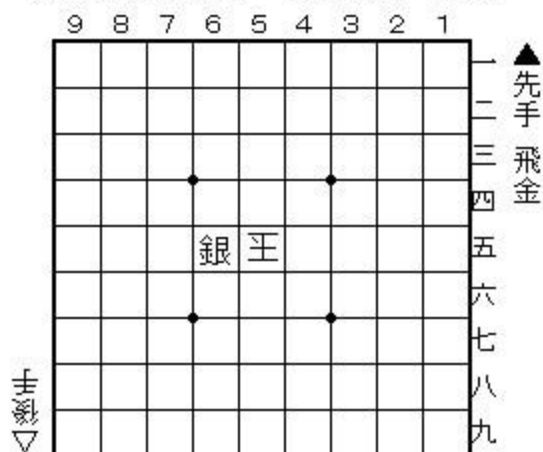


B「こんな感じで比較的シンプルな例題を見つけた。ルールを厳密に説明できたわけではないが、それでもだいたいの棋譜や解説を読めるくらいにはなってるんじゃない？」

A「そうなんかな。より複雑化したらわからなくなりそうだわ」

B「じゃあこんなのはどう？」

強欲ばか詰 3手 (透明駒 2+2)



A「強欲う！？お前純粋な透明駒もやりたてなのにもう複合ルールに手を染めるの？」

B「いちいち突っかかるなあ。だから正式な解答募集は避けてるじゃないか。とはいえ、多くの方にお褒めの言葉をいただいて、ちょっと調子に乗って営業活動したくなっちゃったんだよ」

A「で、どんな手順なの」

B「それはブログの記事

(<http://fairypara.blog.fc2.com/blog-entry-22.html>)

を確認してね☆」

A「自作の宣伝に重ねて、ブログの宣伝までねじ込むか。汚いなあ。ところで今まで見てきた問題たちって、余詰は大丈夫なの？」

B「……。」

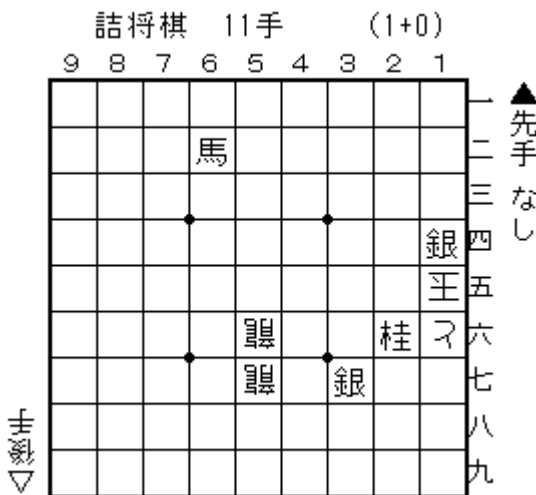
※余詰などありましたらご連絡ください。

B「自作は一旦置いて、世には素晴らしい作品がたくさんある。まずは「この詰将棋がすごい！2015」を見てみるといい。作品のクオリティももちろんだけど何と言っても数がある。解説も僕と違って丁寧だし。一つ一つ鑑賞していくなかで透明駒の全体像を把握していったのが自分なりの入門法だったかなあ」

A「なるほど。でも WFP でも透明駒の作品、結構あるよね」

B「もちろん。先月のフェアリー入門に加えて、過去の WFP 作品展にも結構な投稿数がある。どれ、一作ぐらい観てみるか」

2013/11 WFP 作品展 幻想咲花 氏作



B「確か誌上で初の透明駒作品だったかな。素晴らしい内容だよ。」

A「初手-Xだと27と(桂に対し同ととしたと主張されている)あたりでダメそうだが、じゃあ51馬しかないのか。これ同龍だとどうなるんだ？」

B「それは+51(同角か馬)と取り返して簡単だ。だから合駒だな」

A「24合だと、同馬は同玉か。いやまあよ、+24としてしまえば詰みじゃないか。33と42でも

同じ話だし(+33や+42)、それで2枚角の透かし詰だ。これ11手もかからないよ。」

B「いやちょっとまて。例えばこうされたらどうするんだ」



A「何合だって同じだよ。+42ってやって終わり…、あつ、王手じゃない！」

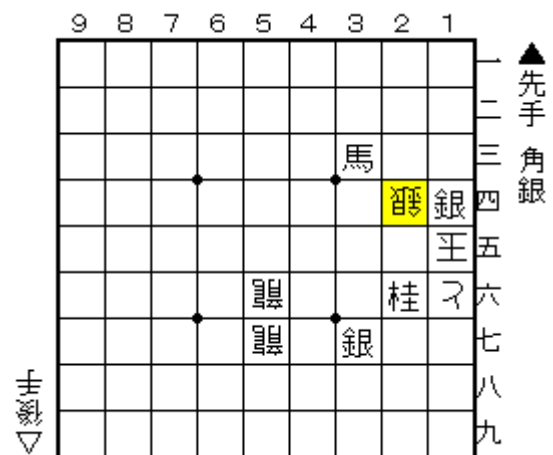
B「そう。角を枯らされたら王手とみなしようがないわな。2枚角の連結を回避する手段が残されていたわけだ。この『品切れ手筋』は透明駒かしこならではの手筋で、魅力的だね。」

A「これは同馬しかなさそう。また合駒かな。24合なら+24ができるよね？角がなくても銀があるから」

B「その通り。そんなわけで33銀合」

A「同じ調子で、同馬？」

B「(こいつニブいな)24銀」



A「よっしゃ、これで今度こそ+24ができ…ない!？」

B「そう、角だけじゃなく銀すらも使い果たされて、+24を達成できる駒が正真正銘枯れてしま

った。これは逃れだな」



A「じゃあ、ここで同馬としたのがいけなかったんだな。と言っても代わりの手となると…」

B「間合いを詰めて相手より先に銀の所有権を主張したくない？」

A「あっ、そうか、24角か！」

B「そう。24角に対し同銀だと+24とできる。さっきと違って銀が枯れてないからね。だから同玉だけど、これでも+33として攻めがつながる。33の駒は銀で確定だ」

A「以下は詰将棋と変わらないね。馬を捨てる収束も入って、本当にうまくできてるよ」

解：51馬、42角、同馬、33銀、24角、同玉、+33(銀生)、35玉、53馬、同龍、36銀打まで11手

B「今期もこんな作品が発表されている」

2015/5 WFP作品展 73-10 会場健大氏作



B「短手数ながらとんでもない量を読まされる。どんな理屈で唯一解になっているのか？どうやってつくったのか？皆目見当がつかない…笑。初見の方は、是非該当号や WFP 作品展鑑賞室 (<http://k7ro.sakura.ne.jp/wfp/EnjoyWFP.html>) で確認してみてください」

○終わりに

いかがでしたでしょうか。本記事によって少しでも透明駒への抵抗感を取り払えていれば幸いです。そして透明駒の世界はまだまだ分からないことばかりです。記事内の自作は素材むき出しの例題ばかりでしたが、皆様が更なる透明駒の世界に踏み入れる足がかりとして役立つことを願っております。

お読みいただきありがとうございました。

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

2016年2月10日(水)

フェアリー入門
強欲詰、禁欲詰 4題

2016年2月15日(月)

第78回 WFP 作品展
フェアリー作品 12題

Fairy of the Forest #46
協力詰 5題

強欲な世界パート4
強欲協力詰 5題

2016年3月15日(火)

第79回 WFP 作品展
フェアリー作品 12題

作品募集一覧

フェアリー入門

課題：Q（クイーン）を含む作品、1,3,5手の最善詰、協力詰

募集締切：2016年3月10日

送り先：

(橘圭伍) keigotatibana@hotmail.com
詳細は、WFP 90号 P9をご覧ください

フェアリー版くるくる展示室

- ・ 盤は9×9、駒は普通の将棋駒及び駒数内（フェアリー駒はとりあえず不可）
- ・ 後手持駒制限 OK

- ・ ルールは何でも OK（協力詰、かしこ詰、打歩詰、自玉詰系、スタイルメイトなど何でも OK）
- ・ 手数制限なし

フェアリー版くるくる展示室（ばか自殺詰）

持駒：歩18を含み、手順に「…」×17（18）を含む ばか自殺詰（詳細は P17 をご覧ください）

投稿先は、WFP 編集部 takubon
takuji@dokidoki.ne.jp

修正

先月号の記事 P46「駒柱あるいは一文字あるいは年賀詰」（神無太郎）の前文で、例えば、【その1】は、攻方盤駒：14王、攻方持駒：角G4、受方盤駒：51玉の、協力自玉スタイルメイト10手…とありますが、先手持駒は飛G4の間違いでした。なお後手にはGの持駒もたくさんあるとのこと、お詫びして訂正します。

あとがき

皆さんにとってよい1年でありますように……

結果稿を読んだ感想、意見、返信等ありましたらメール下さい。改訂時スペースに追加掲載します。（25日前後まで） takubon

2015年 第91号

Web Fairy Paradise

非売品
平成二十八年一月号
平成二十八年一月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市
発行兼編集人 須川卓二
発行所 Web Fairy Paradise 編集部
問合せ先 takuji@dokidoki.ne.jp